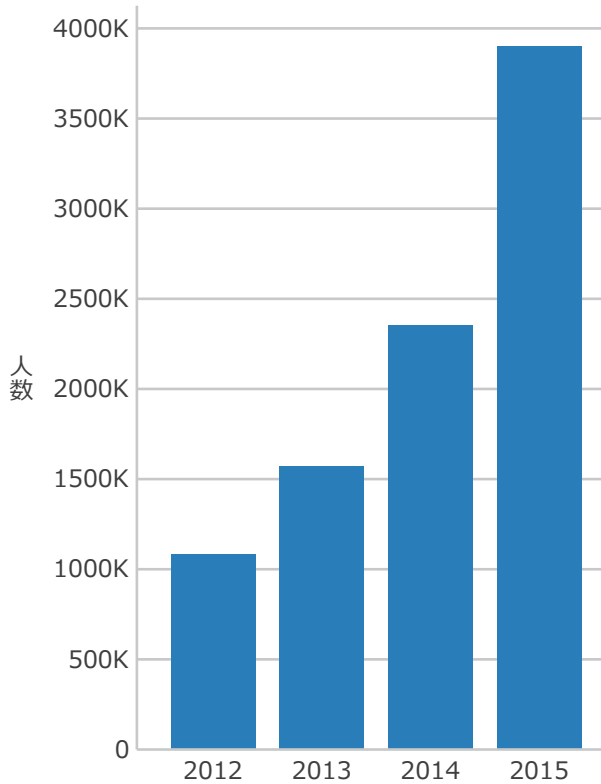


はじめに

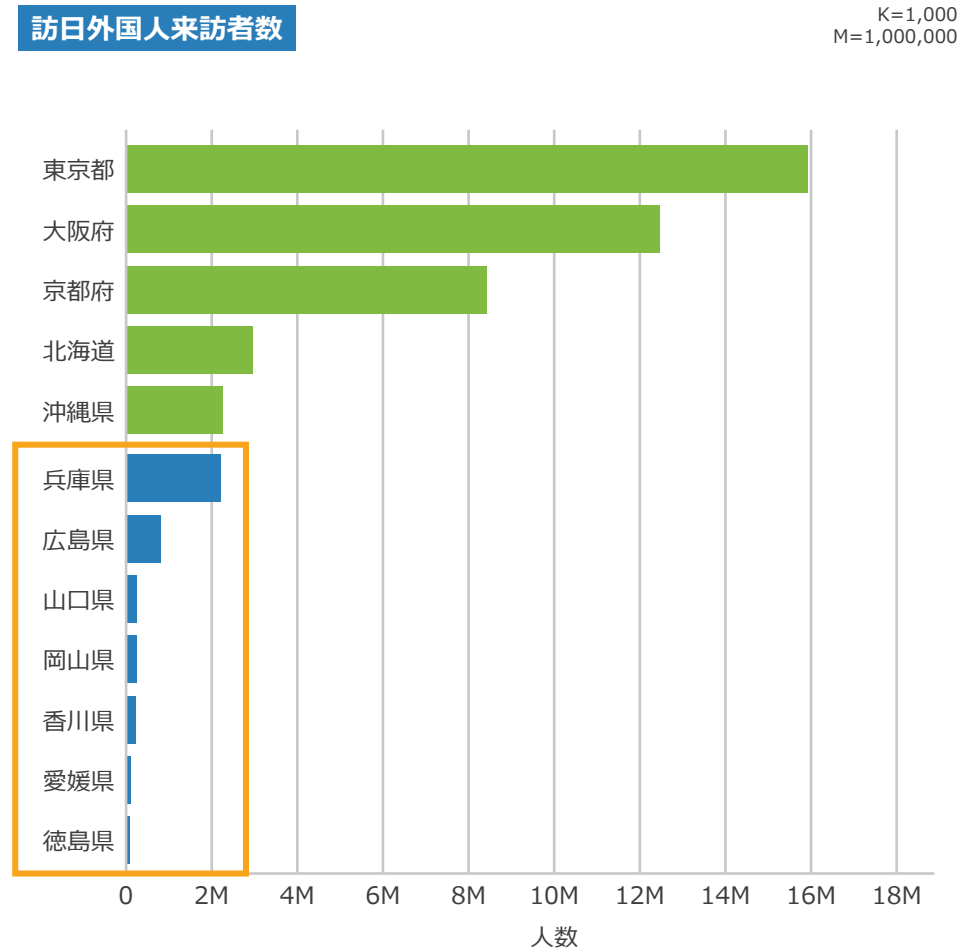
訪日外国人の瀬戸内エリアへの来訪者は大きく伸びていますが、国内の人気観光地と比較すると、兵庫県を除く各県は、大きく差が開いているのが現状です。

DATA : RESAS (地域経済分析システム) 指定地域への国・地域別訪問者数
2015年観光・レジャー目的

訪日外国人来訪者数 (瀬戸内7県)



訪日外国人来訪者数



■ はじめに

- 京都でも見られるのでは？
築地でも食べられるのでは？
- いまの季節に行っても
見どころがないのでは？
- どうやっていくの？
移動が大変なのでは？
交通の便が悪いのでは？



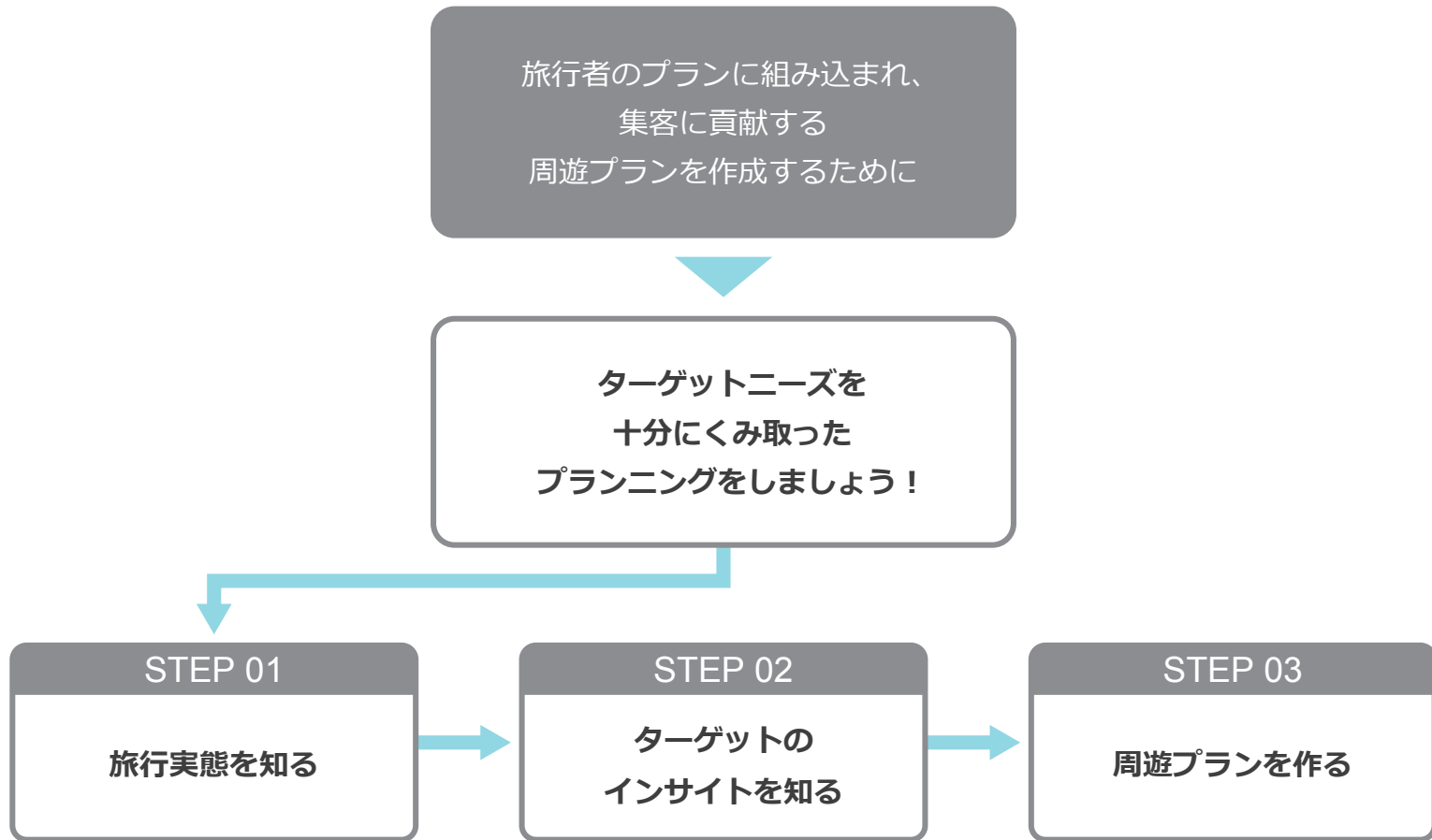
外国人の個人旅行者は「自分の旅程内でいけそうな」
「その場所でしか味わえない体験」を求めています。
いまある観光スポット情報や周遊プランは、そういった
ターゲットニーズに応えられているでしょうか？

■ はじめに

集客に貢献する周遊プランを作るために、

「ターゲットニーズを強く意識したプランニングプロセス」を取り入れました。

そのプランニングプロセスをまとめたものが、本プランニングガイドです。



■ 活用するデータの特徴を把握する

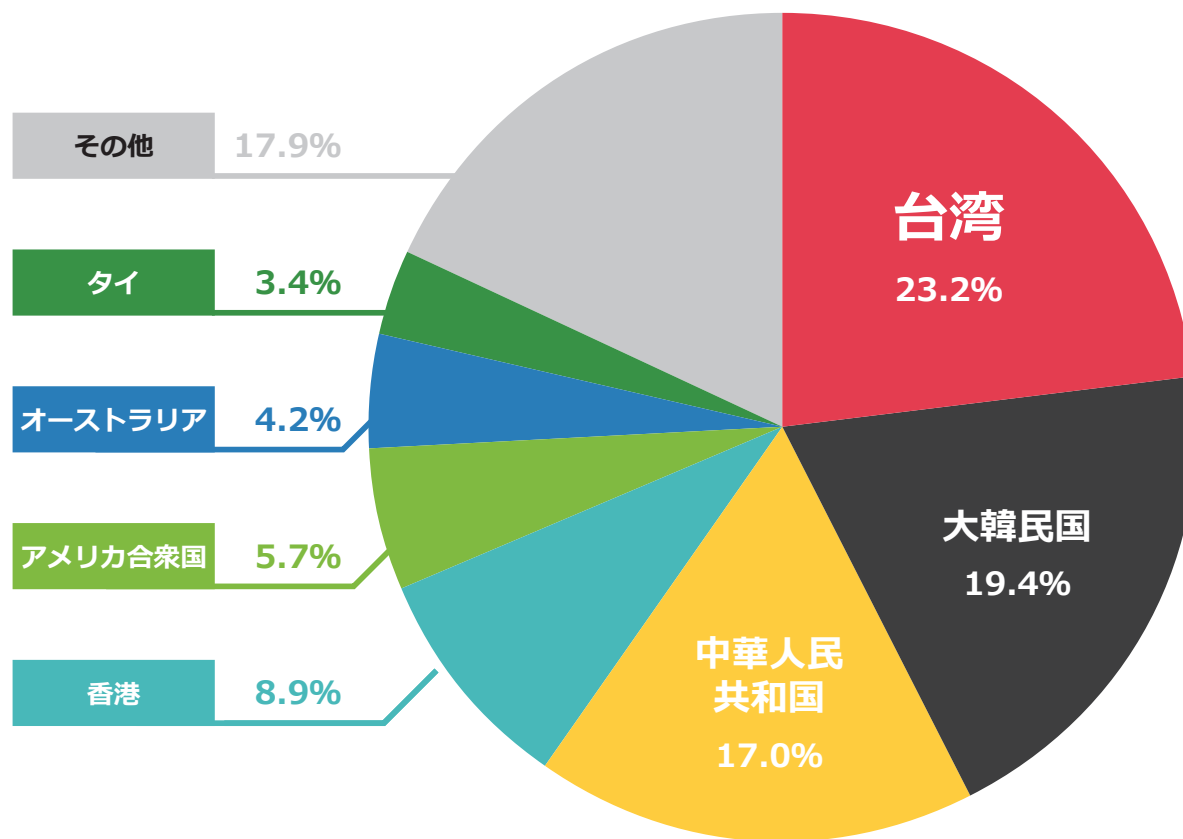
訪日外国人の旅行実態を把握するために、各種調査データを参照します。
今回活用した調査データの種類と利用用途をまとめました。

調査データ	調査元	利用用途
RESAS（地域経済分析システム） 指定地域への国・地域別訪問者数	RESAS（地域経済分析システム）	都道府県ごと × 国・地域ごとの来訪者数を把握する
訪日外国人消費動向調査（2015年）	観光庁	国・地域ごとの特徴（入国空港、宿泊数、同行者など）を把握する
NAVITIME for Japan Travel	NAVITIME JAPAN	一旅行の旅程全体を記録できているため、 各種クロス分析（滞在日数×訪問都道府県数など）や 市区町村以下のレベルの滞在地、前後の滞在地などを把握する
Round Trip Analyzer （2014年11月～2016年12月）	同上	24時間以内の市区町村間の移動に特化して、移動経路を可視化。 リアルな移動経路を把握する
宿泊旅行統計調査（2015年）	観光庁	月ごと × 都道府県ごと × 国・地域ごとの宿泊者数を把握する

瀬戸内エリア内で「来訪者の多い国・地域」を把握する

上位7か国・地域で80%超となるため、
ターゲット候補国・地域を同7か国・地域に絞ります。

DATA : RESAS (地域経済分析システム) 指定地域への国・地域別訪問者数
2015年観光・レジャー目的



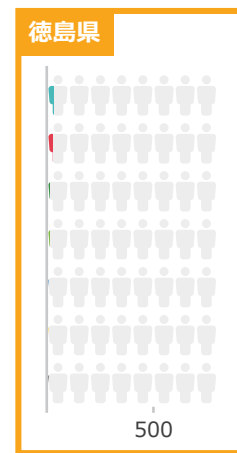
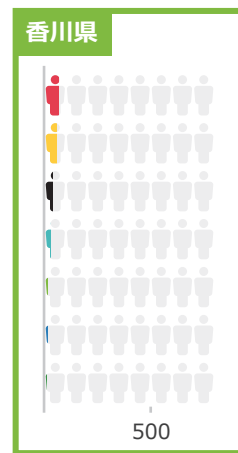
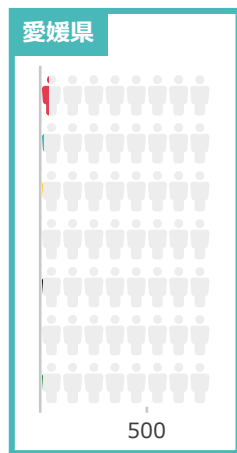
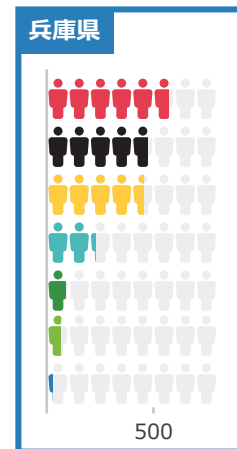
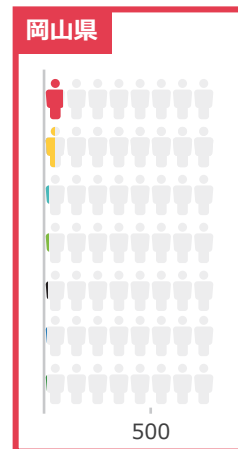
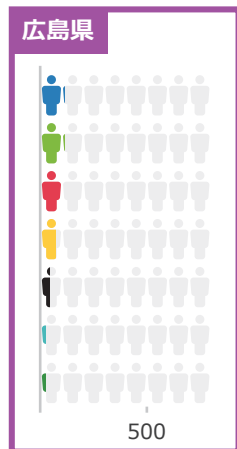
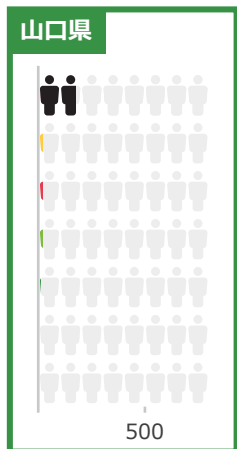
瀬戸内エリア内で「来訪者の多い県」と「国・地域」を把握する

兵庫県が他県を大きく引き離して、数多くの訪日外国人観光客を集めています。

国・地域別で見ると、瀬戸内エリア全体では台湾が来訪トップ。

オーストラリア・米国が広島県来訪の上位に入っているのも特徴的です。

DATA : RESAS (地域経済分析システム) 指定地域への国籍別訪問者数
2015年観光・レジャー目的



ターゲット候補の「平均的な旅程」と「都道府県訪問率」を把握する

最も来訪者数が多い台湾は平均宿泊数が5泊程度、都道府県の訪問率は2.3県となりました。

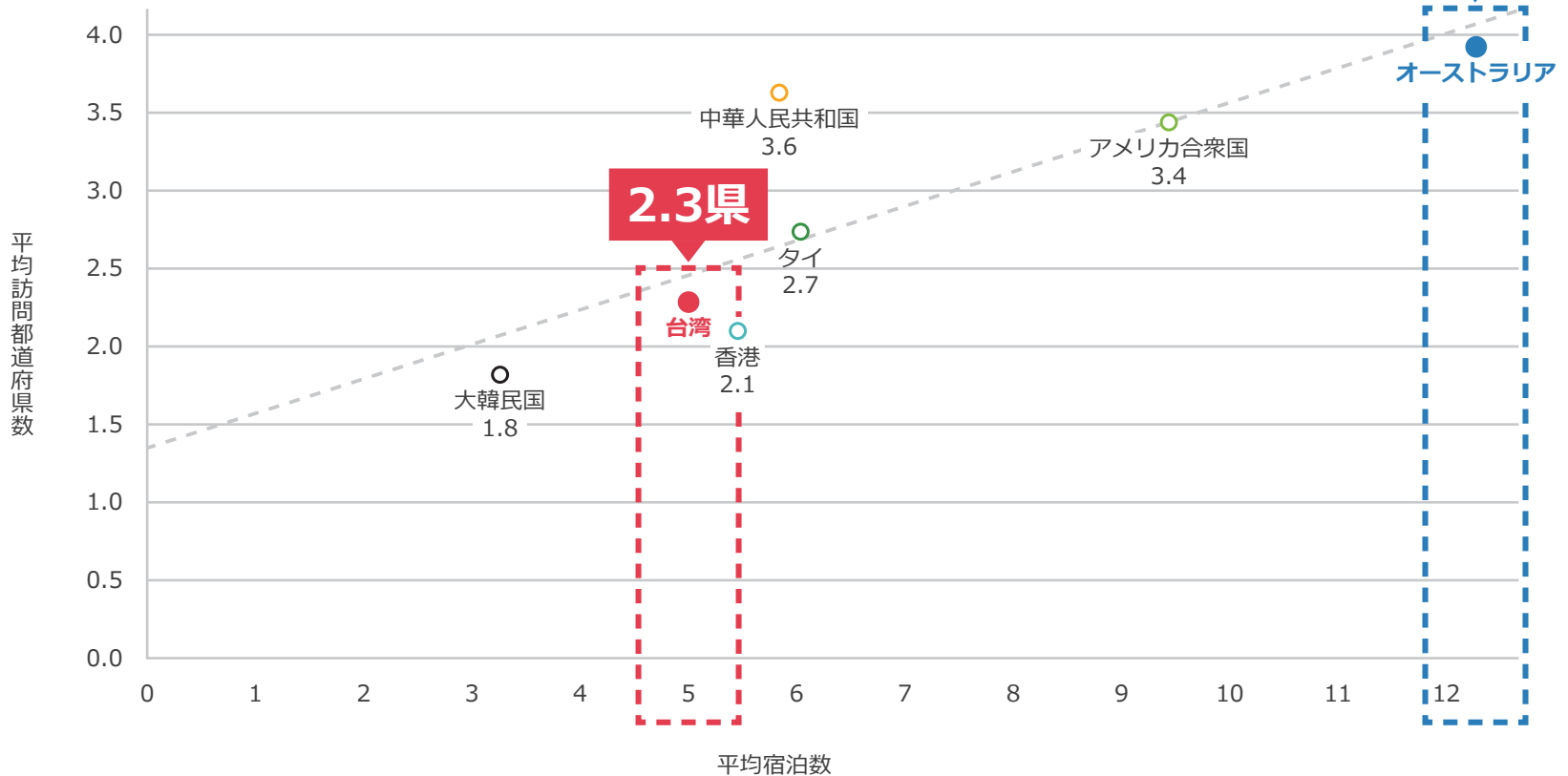
最も滞在日数が長く、訪問率が高いのはオーストラリアで、12泊程度で3.9県となりました。

宿泊数の差ほど、訪問県では差がつきません。1旅行に際して、

概ね2~4県の訪問という旅行実態が浮かび上がってきます。

DATA：観光庁「訪日外国人消費動向調査」
2015年観光・レジャー目的
数字は平均訪問都道府県数

「旅程」と「訪問都道府県数」の関係



「来訪数が多い国・地域」と「宿泊日数が多い国・地域」に注目する



瀬戸内旅行時の平均滞在日数を把握する（瀬戸内エリアに滞在した訪日外国人旅行者が対象）

瀬戸内エリアに滞在した人の、「日本旅行時の総滞在日数と瀬戸内エリア内滞在日数」の関係を調べました。

すると、全旅程が6日の人（台湾に多い滞在日数）は平均滞在日数1.84日という数字が出てきました。

また全旅程が13日の人（オーストラリアに多い滞在日数）は平均滞在日数2.3日という数字が出てきました。

日本旅行時の総滞在日数の長さはさほど影響せず、瀬戸内エリア滞在日数は2～3日程度という実態が見えてきます。

DATA : NAVITIME JAPAN 「NAVITIME for Japan Travel」

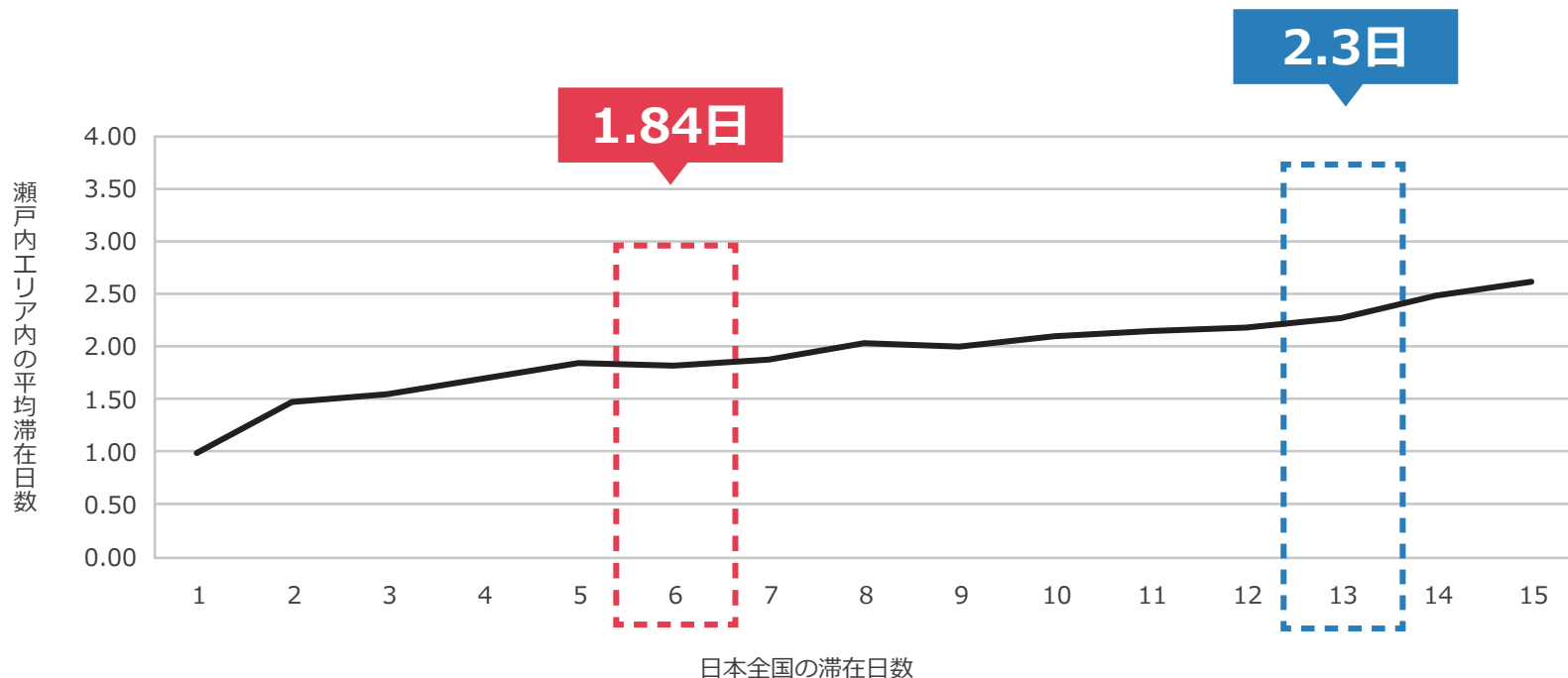
期間：2014年11月1日～2016年11月30日

※瀬戸内エリア滞在者を対象に、日本旅行時の総滞在日数と
瀬戸内エリア内滞在日数の関係を描画

※瀬戸内エリアは兵庫県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県の7県

※同一1kmメッシュ内にて30分以上連続してデータが取得できた場合を滞在と定義

「日本旅行時の総滞在日数と瀬戸内エリア内滞在日数」の関係



一般的な瀬戸内エリアの滞在パターンを把握する（日本6日滞在の場合）

旅程は近畿エリアとのコンビネーションで形成されます。瀬戸内エリアでの滞在期間は前頁の分析の通り平均1.84日と短く、旅程の1～5日目の間に、瀬戸内エリアに2日程度滞在して近畿に戻るパターンが見えてきます。

DATA : NAVITIME JAPAN 「NAVITIME for Japan Travel」

期間：2014年11月1日～2016年11月30日

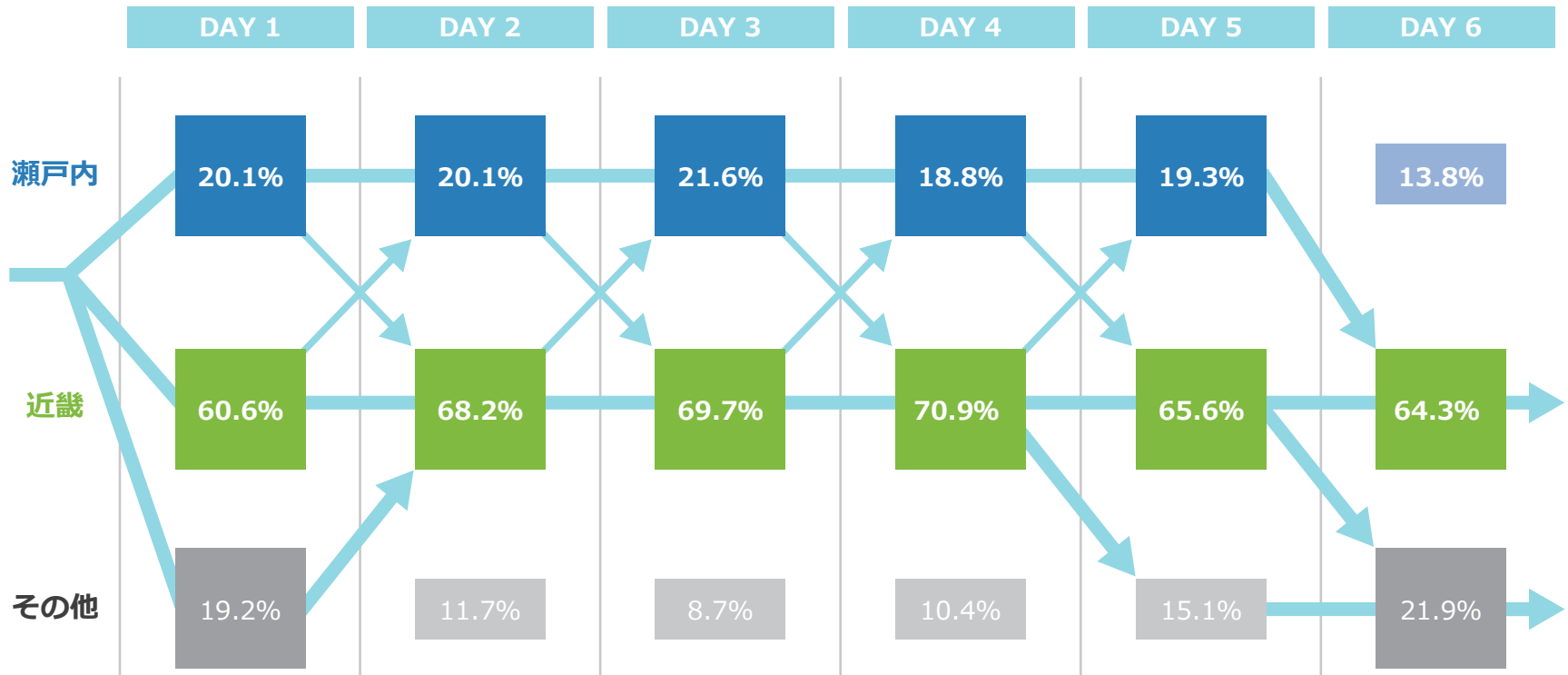
※瀬戸内エリア滞在者かつ日本滞在日数が6日だった訪日外国人の、日ごとの滞在地を市区町村単位で集計して、各日の上位30の滞在地ランキングを作成。

日ごとの滞在者総数を母数として、滞在地ごとの構成比を算出

※瀬戸内エリアは兵庫県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県の7県

※同一1kmメッシュ内にて30分以上連続してデータが取得できた場合を滞在と定義

日本6日滞在の場合



一般的な瀬戸内エリアの滞在パターンを把握する（日本13日滞在の場合）

旅程は主に近畿エリアとのコンビネーションで形成されます。

8～11日目に瀬戸内エリアの滞在割合が相対的に高くなります。

瀬戸内エリアでの滞在期間は平均2.3日なので、旅程の8～11日目の間に、

瀬戸内エリアに2～3日程度滞在して近畿に戻るパターンが見えてきます。

DATA : NAVITIME JAPAN [NAVITIME for Japan Travel]

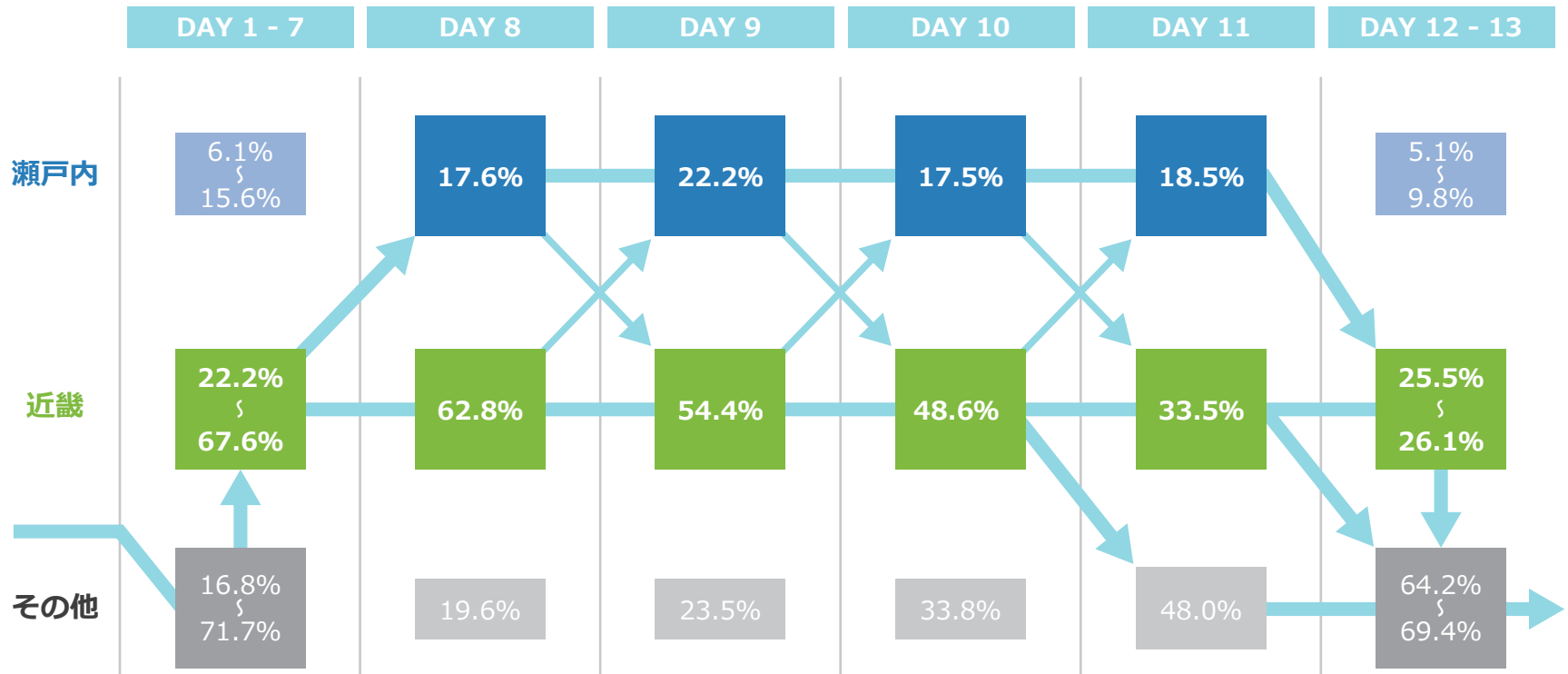
期間 : 2014年11月1日～2016年11月30日

※瀬戸内エリア滞在者かつ日本滞在日数が13日だった訪日外国人の、日ごとの滞在地を市区町村単位で集計して、各日の上位30の滞在地ランキングを作成。

日ごとの滞在者総数を母数として、滞在地ごとの構成比を算出

※瀬戸内エリアは兵庫県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県の7県
※同一1kmメッシュ内にて30分以上連続してデータが取得できた場合を滞在と定義

日本13日滞在の場合



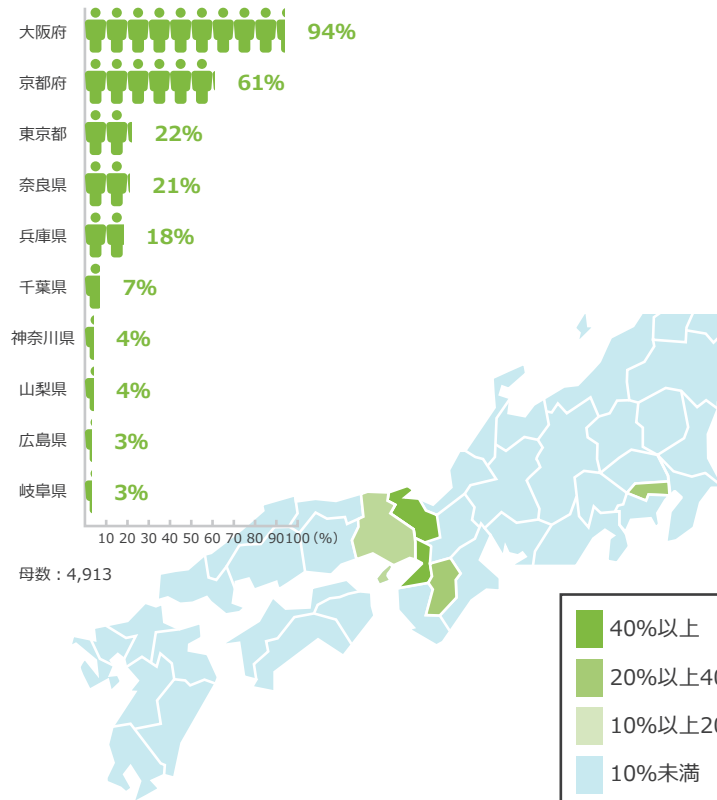
日本6日滞在：瀬戸内エリアの滞在を+1日増やすためのヒント

「関西空港からの入国者」を対象に、入国初日の宿泊地の違いによって、その後の旅程の範囲がどのように変わるかを確認しました。その結果、「入国初日、瀬戸内に宿泊した人」は「割合は少ないものの存在する」こと、「その後の旅程の瀬戸内比率が高まること」が把握できました。「入国初日、瀬戸内エリアに宿泊させること」が大きなヒントになりそうです。

DATA：NAVITIME JAPAN「NAVITIME for Japan Travel」
 期間：2014年11月1日～2016年11月30日
 ※瀬戸内エリアは兵庫県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県の7県
 ※21時～翌3時までの間において、当該ユーザが最後に測位された場所を宿泊地と定義し、当該宿泊地の宿泊者として計上

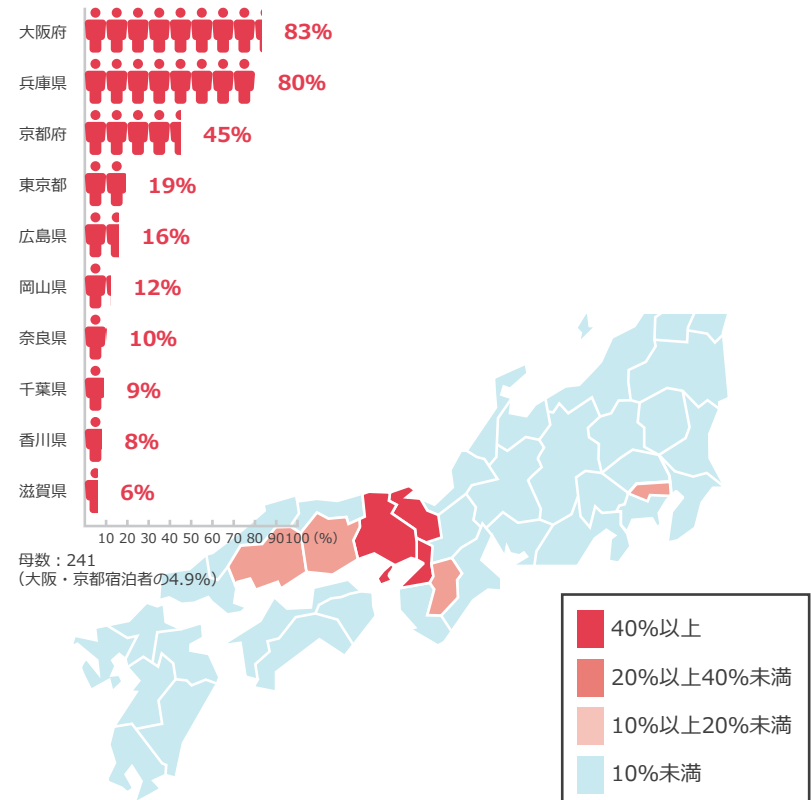
入国初日大阪・京都宿泊者の移動圏域

- 初日に大阪・京都に泊まった人の全旅程における滞在先を都道府県毎に集計
- 滞在：同一1kmメッシュ内にて30分以上連続してデータを取得



入国初日瀬戸内宿泊者の移動圏域

- 初日に瀬戸内に泊まった人の全旅程における滞在先を都道府県毎に集計
- 滞在：同一1kmメッシュ内にて30分以上連続してデータを取得

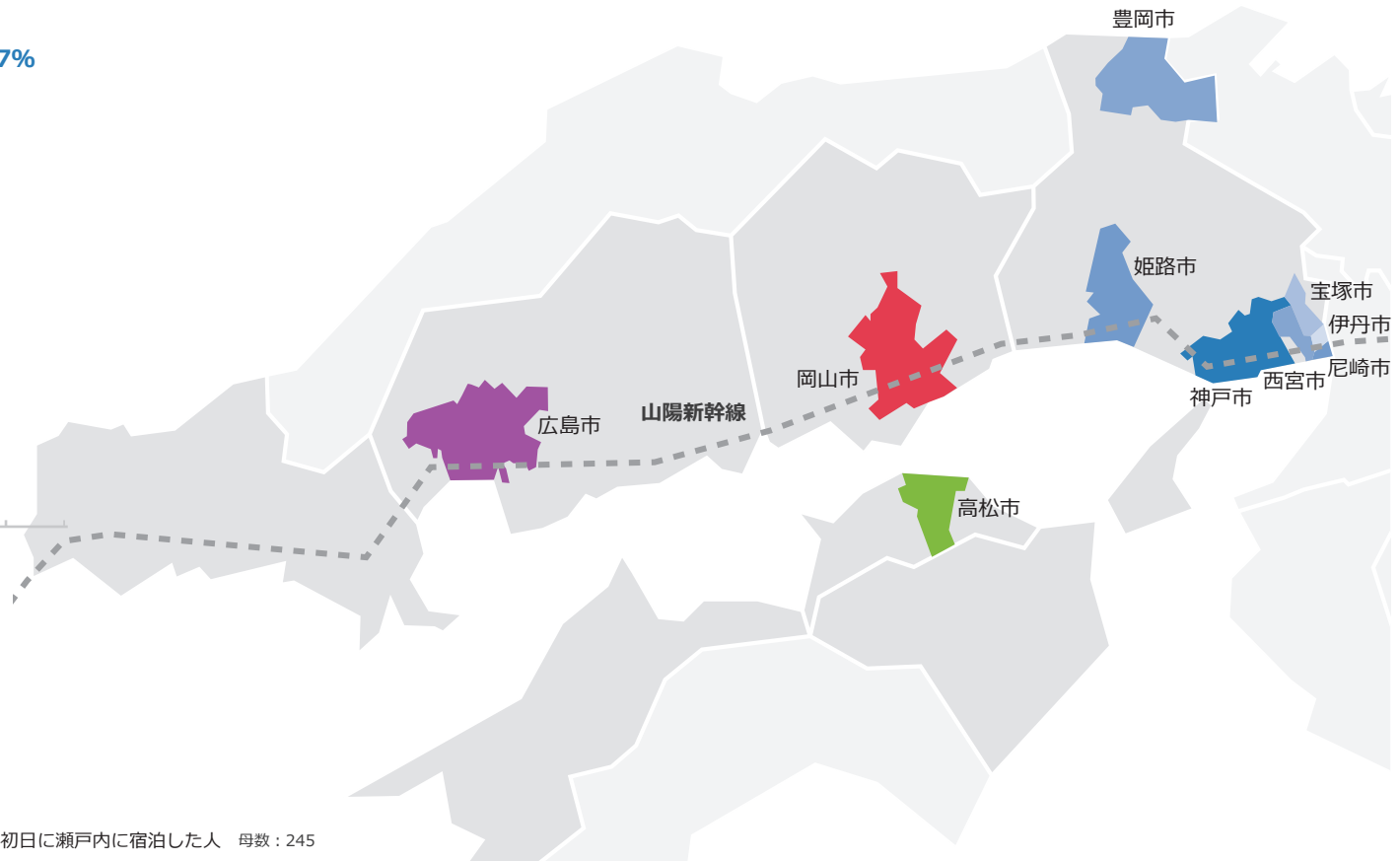
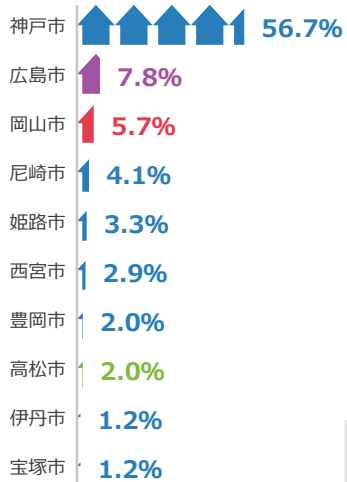


日本6日滞在：瀬戸内エリアの滞在を+1日増やすためのヒント

関西空港からの入国者のうち「入国初日、瀬戸内エリアに宿泊した人」が、「どの市区町村に宿泊したか」を確認しました。神戸市が中心になっていますが、少ないながら、広島市・岡山市・高松市も確認できます。

DATA：NAVITIME JAPAN「NAVITIME for Japan Travel」
 期間：2014年11月1日～2016年11月30日
 ※瀬戸内エリアは兵庫県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県の7県
 ※21時～翌3時までの間において、当該ユーザが最後に測位された場所を宿泊地と定義し、当該宿泊地の宿泊者として計上

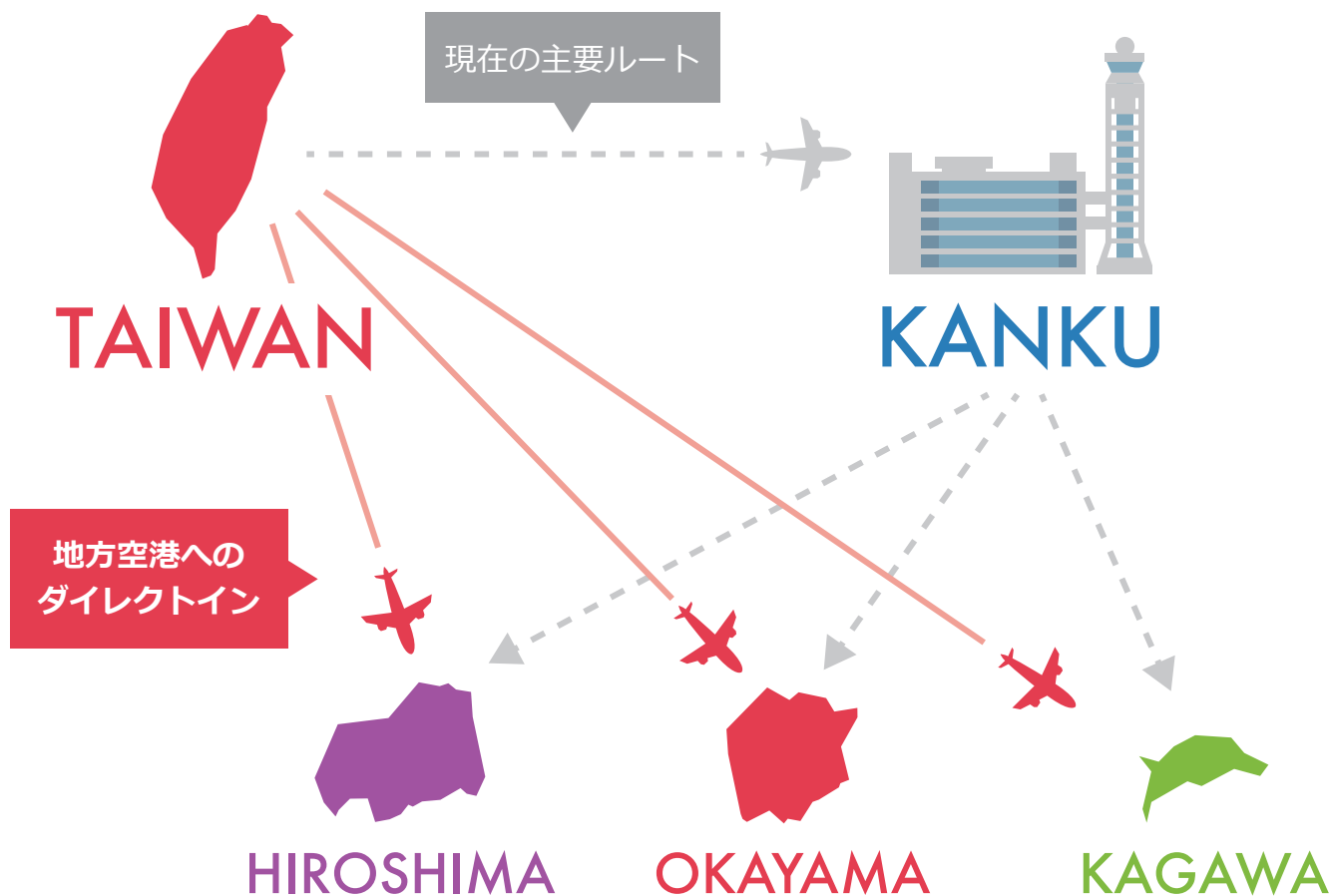
市区町村別宿泊者数



母集団：関西空港から入国して入国初日に瀬戸内に宿泊した人 母数：245

■ 日本6日滞在：瀬戸内エリアの滞在を+1日増やすためのヒント

「入国初日を瀬戸内エリアで宿泊した人」はその後の旅程でも瀬戸内エリアの滞在率が高まっていました。また少数ながら、関西国際空港入国者でも初日の宿泊地を広島県・岡山県・香川県にした人がおり、これらの県には台湾から直行便が飛んでいるため、本来であれば直行便を利用した方が便利です。台湾から地方空港へのダイレクトイン利用を促進することで、瀬戸内エリアでの滞在日数を延ばせる可能性があります。

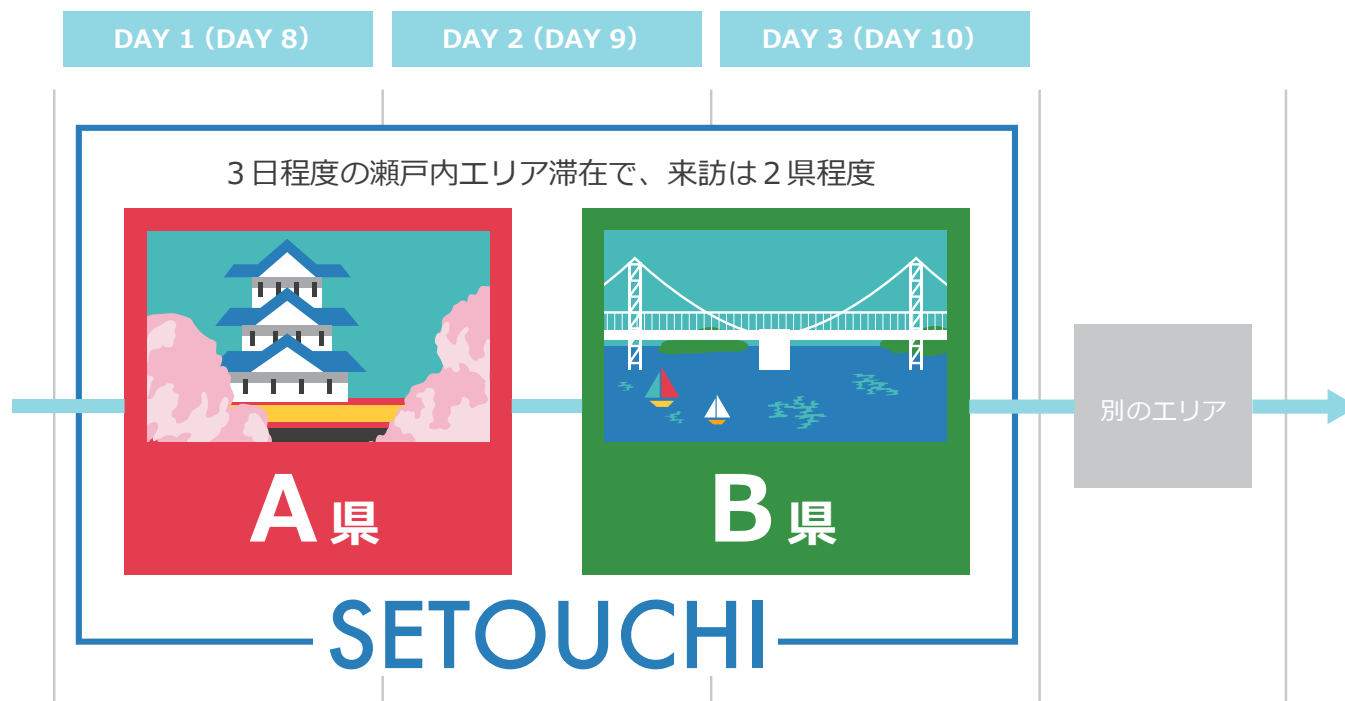


瀬戸内エリアの滞在パターンをまとめる

瀬戸内エリアでの滞在パターンは「3日程度、滞在県数は2県程度」にまとめることができます。

次以降のステップで、現在よく旅行されている、瀬戸内エリアの滞在県の組み合わせについて調べます。

日本6日滞在の場合（日本13日滞在の場合）



■ 宿泊地として、関係の強い県の組み合わせを把握する

瀬戸内7県に1日以上宿泊した訪日外国人の、前日と当日の宿泊地の組み合わせを見ることで、瀬戸内各県間の関係の強さを把握しました。

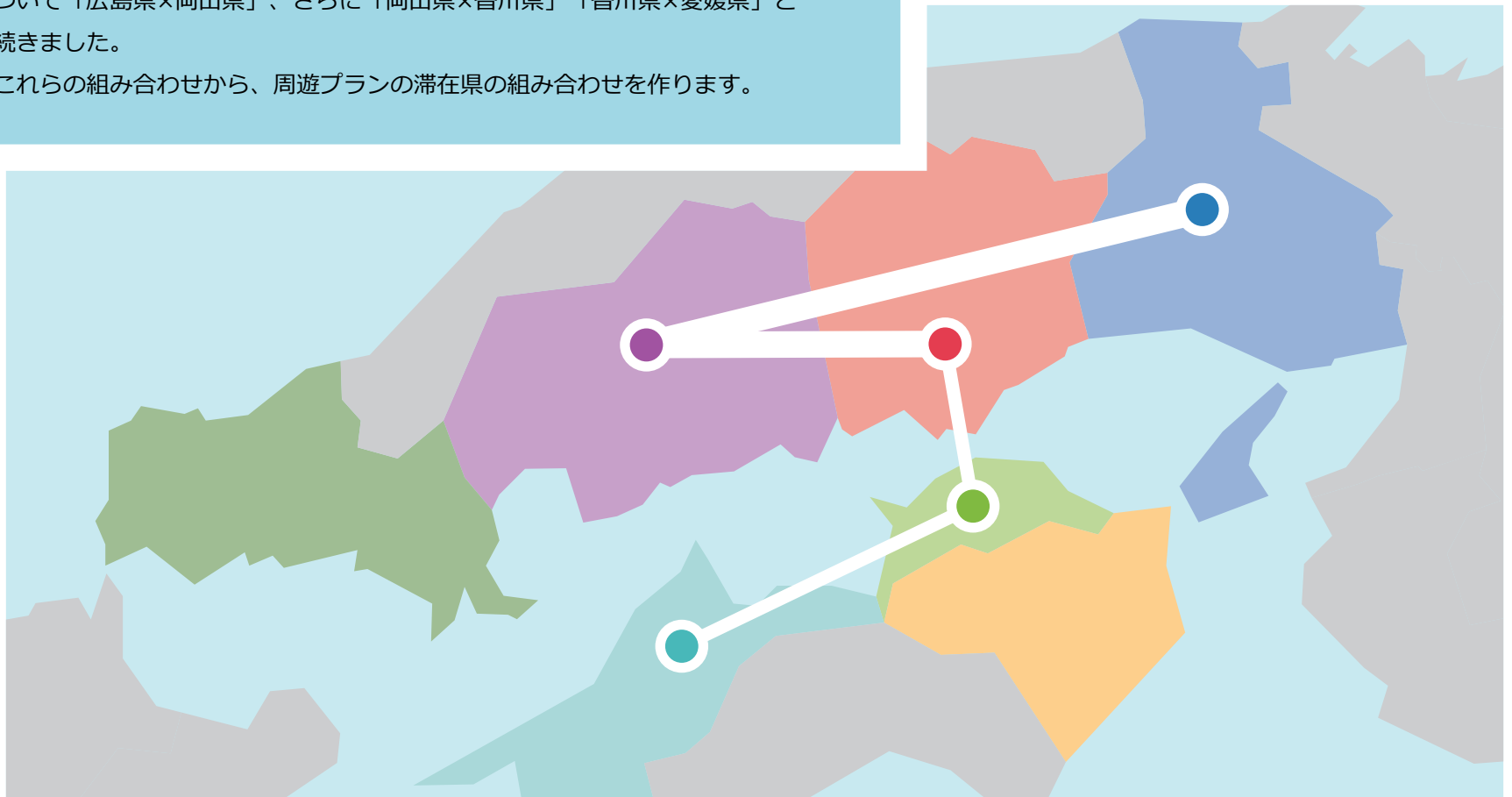
主だった強い組み合わせを抽出します。

最も多くの宿泊者がいた組み合わせは「兵庫県×広島県」。

ついで「広島県×岡山県」、さらに「岡山県×香川県」「香川県×愛媛県」と続きました。

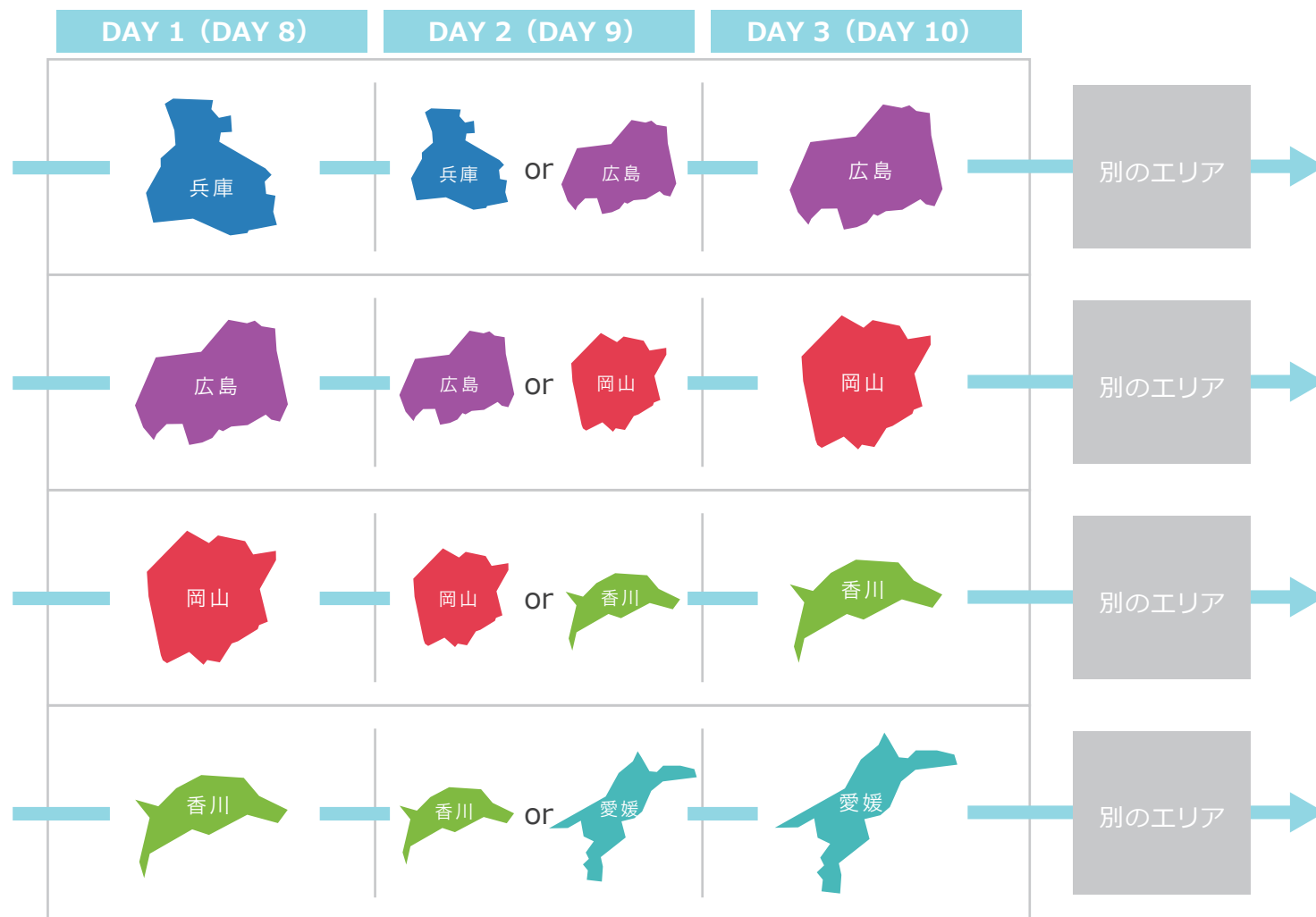
これらの組み合わせから、周遊プランの滞在県の組み合わせを作ります。

DATA : NAVITIME JAPAN 「NAVITIME for Japan Travel」
期間 : 2014年11月1日～2016年11月30日
※瀬戸内7県に1日以上宿泊した訪日外国人が対象
※主だった強い組み合わせを線で結んだ
※21時～翌3時までの間において、当該コースが最後に測位された場所を宿泊地と定義し、当該宿泊地の宿泊者として計上



■ 受容度の高い、周遊プランのパターンをまとめる

日本6日滞在の場合（日本13日滞在の場合）



■ ターゲット国・地域を設定する

次以降のステップで、国・地域ごとに属性を確認していくため、この段階でターゲット国・地域を設定します。

これまでに見た旅行実態から、来訪者数が圧倒的に多い台湾は効果が出やすいと思われ、ターゲットにすべきと考えます。

また周遊プランの作成という目的から考えると、1旅行あたりの宿泊数が多く、訪問県が多いオーストラリアもターゲットとして魅力的です。

ターゲット国・地域を台湾とオーストラリアに設定し、さらに旅行実態を明らかにしていきます。



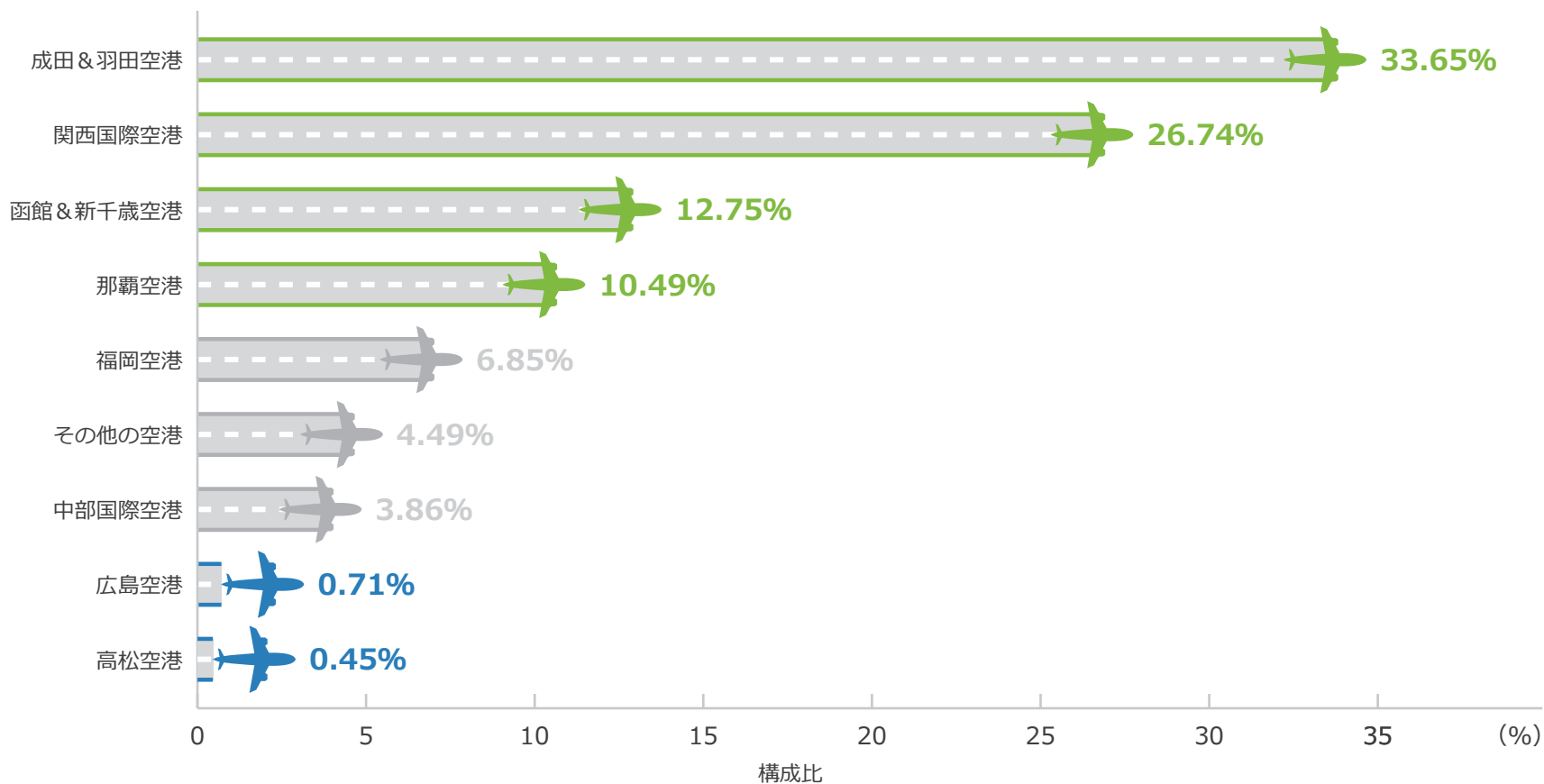
訪日旅行者（台湾）の属性を把握する

入国空港が東京圏と関西国際空港と北海道圏と沖縄に分かれます。

瀬戸内方面に向かう旅行者の大部分は関空からの入国だと想定されます（広島・高松空港はまだ数字が小さいです）。

DATA：観光庁「訪日外国人消費動向調査」
2015年観光・レジャー目的

入国港（台湾）



訪日旅行者（台湾）の属性を把握する

訪日回数は豊富で、女性の20～40代、男性30代がボリュームゾーンになります。

同行者は家族や友人が多く、宿泊場所は、ホテルと旅館で9割を超えます。

DATA：観光庁「訪日外国人消費動向調査」
2015年観光・レジャー目的

来日回数別平均宿泊数

来日回数	平均宿泊数	
1回目	4.6	22.2%
2回目	4.7	20.6%
3回目	5.0	13.8%
4回目	5.8	9.1%
5回目	5.0	8.3%
6～9回目	5.3	12.2%
10～19回目	5.5	8.3%
20回以上	5.4	5.6%

同行者別平均宿泊数

同行者	平均宿泊数	
家族・親族	4.8	45.6%
友人	5.1	24.9%
夫婦・パートナー	4.8	14.9%
自分ひとり	6.8	8.2%
職場の同僚	4.1	5.8%
その他	4.9	0.5%

性別年齢別平均宿泊数

性別	年齢	平均宿泊数	
男性	20歳未満	6.0	1.6%
	20代	5.3	10.1%
	30代	4.7	13.6%
	40代	4.7	8.5%
	50代	5.0	4.4%
	60代	4.6	2.5%
	70代以上	5.1	0.5%
女性	20歳未満	4.8	2.1%
	20代	5.1	15.6%
	30代	5.0	20.0%
	40代	5.1	12.0%
	50代	4.8	6.1%
	60代	5.1	2.6%
	70代以上	8.3	0.5%

宿泊場所別平均宿泊数

宿泊場所	平均宿泊数	
ホテル（洋室中心）	4.8	70.0%
旅館（和室中心）	5.0	23.8%
親族・知人宅	12.2	2.4%
ユースホステル・ゲストハウス	7.5	2.1%
別荘・コンドミニアム	6.1	0.6%
その他	7.7	0.9%
学校の寮・会社所有の宿泊施設	6.6	0.2%

訪日旅行者（台湾）のインサイト

DATA：訪日経験有りの台湾在住者へのインタビュー



共通

- 台湾にはないもの
- 東京 / 大阪 / 京都 / 北海道 / 沖縄は経験済で、そこでは楽しめないもの
- 地方部は行き方が分からない
- 四季で景色が変わるのが日本の魅力
- SNS投稿映えるコンテンツが好き



魅力を感じるもの

自然



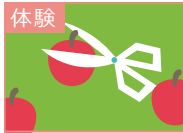
桜や雪や紅葉など、季節を感じさせる美しい自然

文化



地域色豊かな祭り/風習/文化

体験



体験コンテンツ
(漁業体験/フルーツ狩り/
酒蔵体験/工芸品製作)
但し暑い時期の屋外体験は好まれない

買い物



何回日本に来ても、大都市での買い物は必須

魅力を感じるもの

体験



子供にとって良い思い出になりそうな体験（漁業体験/
工芸品製作/フルーツ狩り/
キッズパーク）但し暑い時期の屋外体験は好まれない

買い物



大都市での買い物時間は必須（母親）
父と子供は観光、母は買い物、というパターンはよくある

旅行のスタイル

- 交通の便が悪いところでもOKだが、移動時間が長いのはもったいないと感じる
- 毎晩宿が変わることも許容できるが、できれば避けたい

休みの時期

- 仕事が一段落ついた時の土日 + 有給
- 4月と10月の連休に、有給をくっつけて、4・5泊旅行にすることが多い

旅行のスタイル

- 長い移動は子供がNG
- 荷物が多いのと、子供の慣れの問題もあり、頻繁な宿替えは避けたい

休みの時期

- 子供の夏休みの時期になるので7~8月中心
- 祖父母も交えた旅行なら春節時期の旅行もあり得る

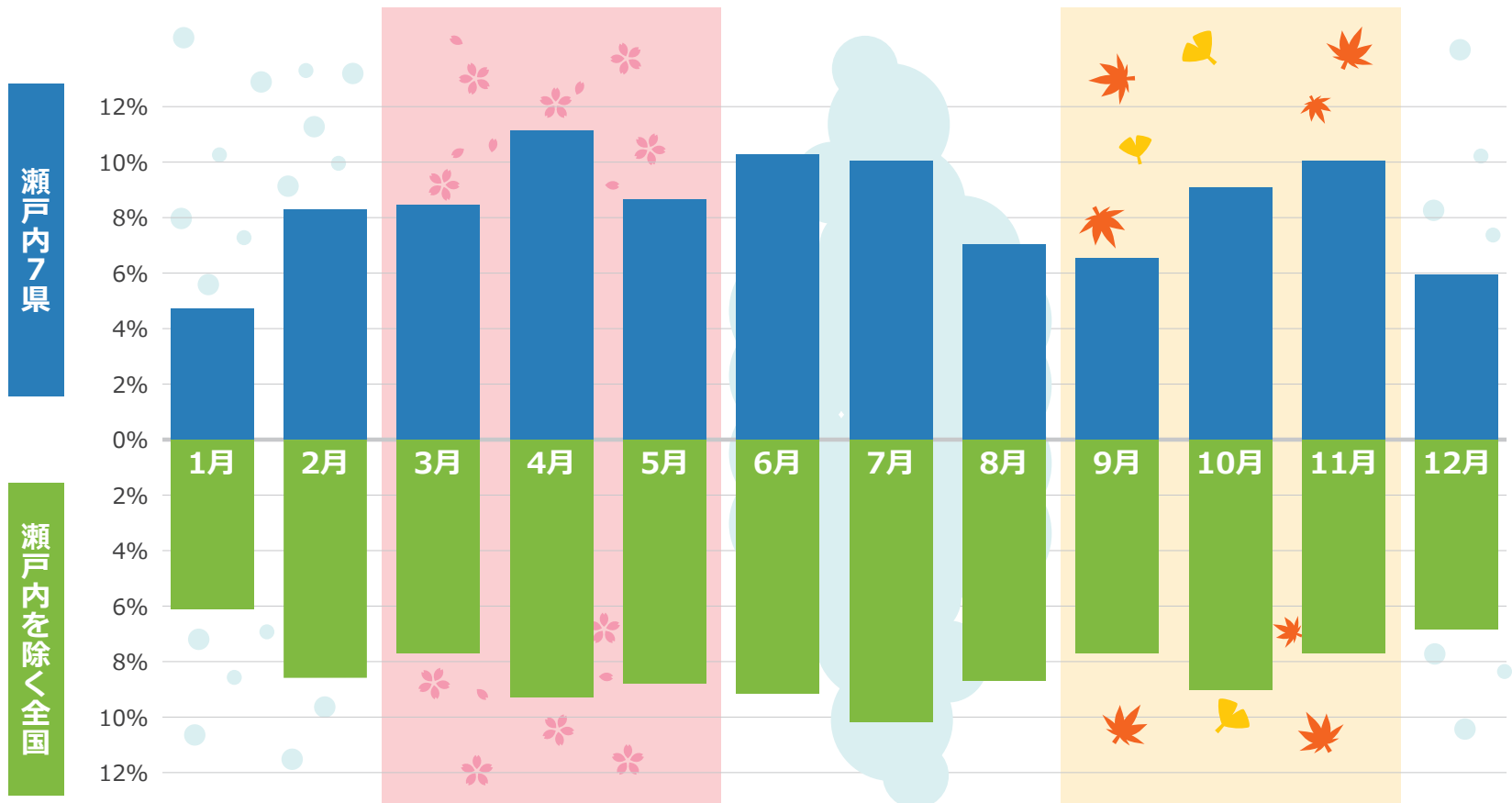
訪日旅行時期（台湾）を把握する

全国的な傾向と比べて、4月と11月が増えています。

桜と紅葉が目的であることが想定されます。

DATA：観光庁「宿泊旅行統計調査」
2015年。外国人延べ宿泊数。従業員10名以上の施設（参考第1表）

延宿泊者数の月別構成比

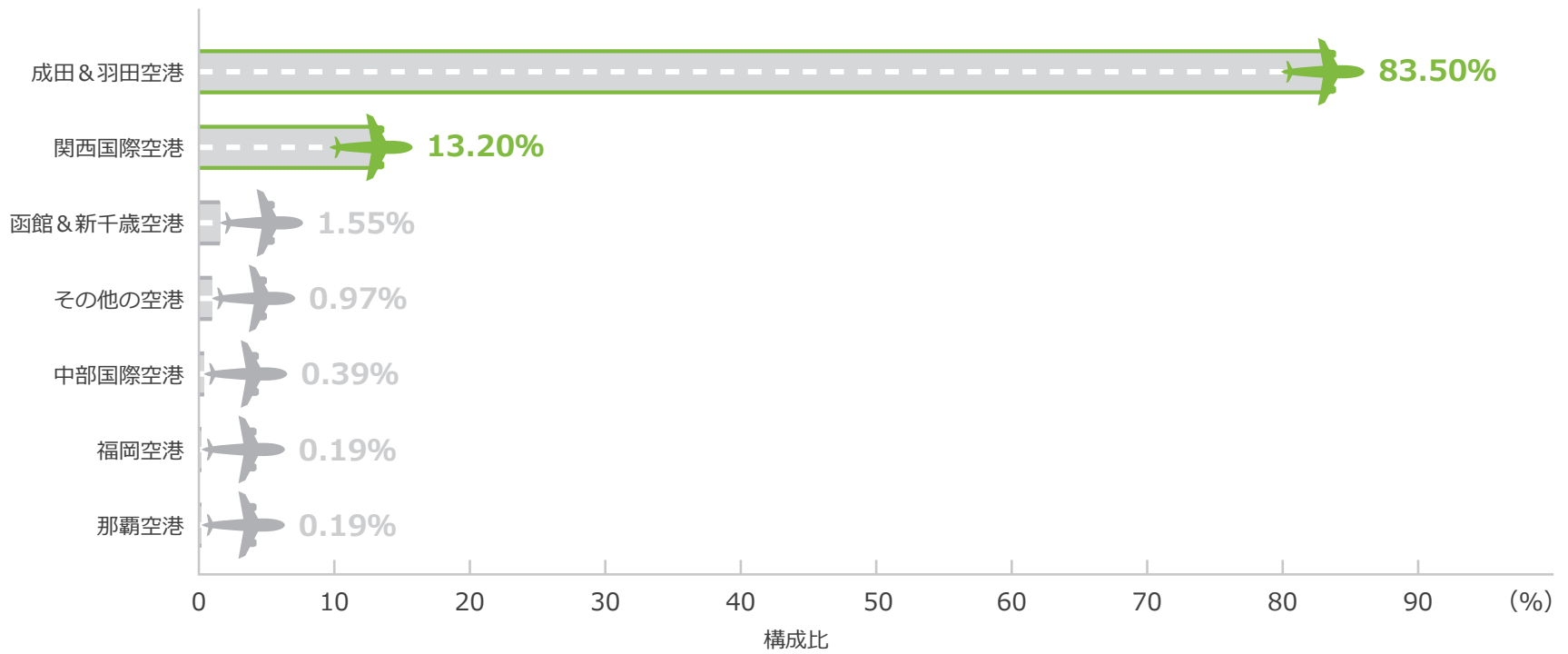


訪日旅行者（オーストラリア）の属性を把握する

入国空港が東京圏と関西国際空港に分かれます。瀬戸内方面へ向かう旅行者も同様に、東京圏と関空からの入国だと想定されます。

DATA：観光庁「訪日外国人消費動向調査」
2015年観光・レジャー目的

入国港（オーストラリア）



訪日旅行者（オーストラリア）の属性を把握する

男女の20代がボリュームゾーンとなり、同行者は夫婦・家族・友人が多いです。

来日経験は初来日となる人が多いと想定されます。旅館やゲストルームなども活用している様子がうかがえます。

DATA：観光庁「訪日外国人消費動向調査」
2015年観光・レジャー目的

来日回数別平均宿泊数

来日回数	平均宿泊数	
1回目	13.0	64.7%
2回目	11.2	18.1%
3回目	10.9	8.0%
4回目	10.2	2.3%
5回目	13.6	2.9%
6～9回目	7.3	2.1%
10～19回目	11.9	0.8%
20回以上	9.4	1.2%

同行者別平均宿泊数

同行者	平均宿泊数	
家族・親族	12.0	23.3%
友人	13.1	22.9%
夫婦・パートナー	11.9	35.2%
自分ひとり	12.7	18.0%
職場の同僚	7.3	0.6%
その他	0.0	0.0%

性別年齢別平均宿泊数

性別	年齢	平均宿泊数	
男性	20歳未満	10.9	1.4%
	20代	13.8	18.7%
	30代	10.9	12.5%
	40代	12.2	7.0%
	50代	11.5	10.1%
	60代	13.6	5.3%
	70代以上	10.5	2.7%
女性	20歳未満	13.4	1.6%
	20代	12.8	17.5%
	30代	11.1	7.2%
	40代	10.8	5.3%
	50代	11.8	4.1%
	60代	13.3	4.5%
	70代以上	13.0	2.3%

宿泊場所別平均宿泊数

宿泊場所	平均宿泊数	
ホテル（洋室中心）	12.2	58.3%
旅館（和室中心）	13.7	17.0%
親族・知人宅	14.7	4.2%
ユースホステル・ゲストハウス	15.2	9.7%
別荘・コンドミニアム	12.1	2.4%
その他	14.9	8.2%
学校の寮・会社所有の宿泊施設	9.5	0.3%

訪日旅行者（オーストラリア）のインサイト

DATA：オーストラリア在住者へのインタビュー及び過去の各種ヒアリング資料



共通

- 日本に行った回数は少ない
- 視野を広げるために、進んで異文化を体験したい。冒険色を好む
- 大都市のにぎわいと美しい自然があること、四季によって景色が大きく変わることを知っている
- 地方部は行き方が分からない
- チェックインを繰り返すのは面倒だから、同じ宿に2連泊以上したい



魅力を感じるもの

<p>自然</p> <p>桜や雪や紅葉など、季節を感じさせる美しい自然</p>	<p>文化</p> <p>歴史を感じさせる街並み、風習 / 文化</p>	<p>体験</p> <p>体験コンテンツ (漁業体験 / 酒蔵体験 / 工芸品製作)</p>	<p>レジャー</p> <p>母国ではスキーは高価なレジャー。お手頃料金で良質な雪が楽しめる日本のスキー場は魅力</p>
<p>他にも 現代カルチャー(ハイテク、アニメ、ネオン街)/インスピレーションを得やすい、静かな環境</p>			

魅力を感じるもの

<p>教育</p> <p>日本語(外国語教育)、礼儀作法に触れる体験</p>	<p>文化</p> <p>子供にとって良い経験になる、教育的な日本文化観光(武家文化 / 遺跡)</p>	<p>体験</p> <p>子供にとって良い経験になり、子供が喜びそうな体験(漁業体験 / 工芸品製作 / フルーツ狩り / キッズパーク)</p>	<p>レジャー</p> <p>母国ではスキーは高価なレジャー。お手頃料金で良質な雪が楽しめる日本のスキー場は魅力</p>
---	---	--	---

旅行のスタイル

- 最初の旅行では、有名なところ(東京・大阪・京都・広島)をまわりたい
- その上でローカルエリアにも行ってみたい

休みの時期

- 長い休みであっても、前もって決めておけば、時期を問わず、いつでもとれる

旅行のスタイル

- 子供優先
- 長い移動は子供がNG

休みの時期

- 子供の学校が休みの時。年4回の長期休みがある
- 2016年 NSW州(シドニー)
- ・ 4/9~4/26
 - ・ 7/2~7/18
 - ・ 9/24~10/9
 - ・ 12/17~1/29

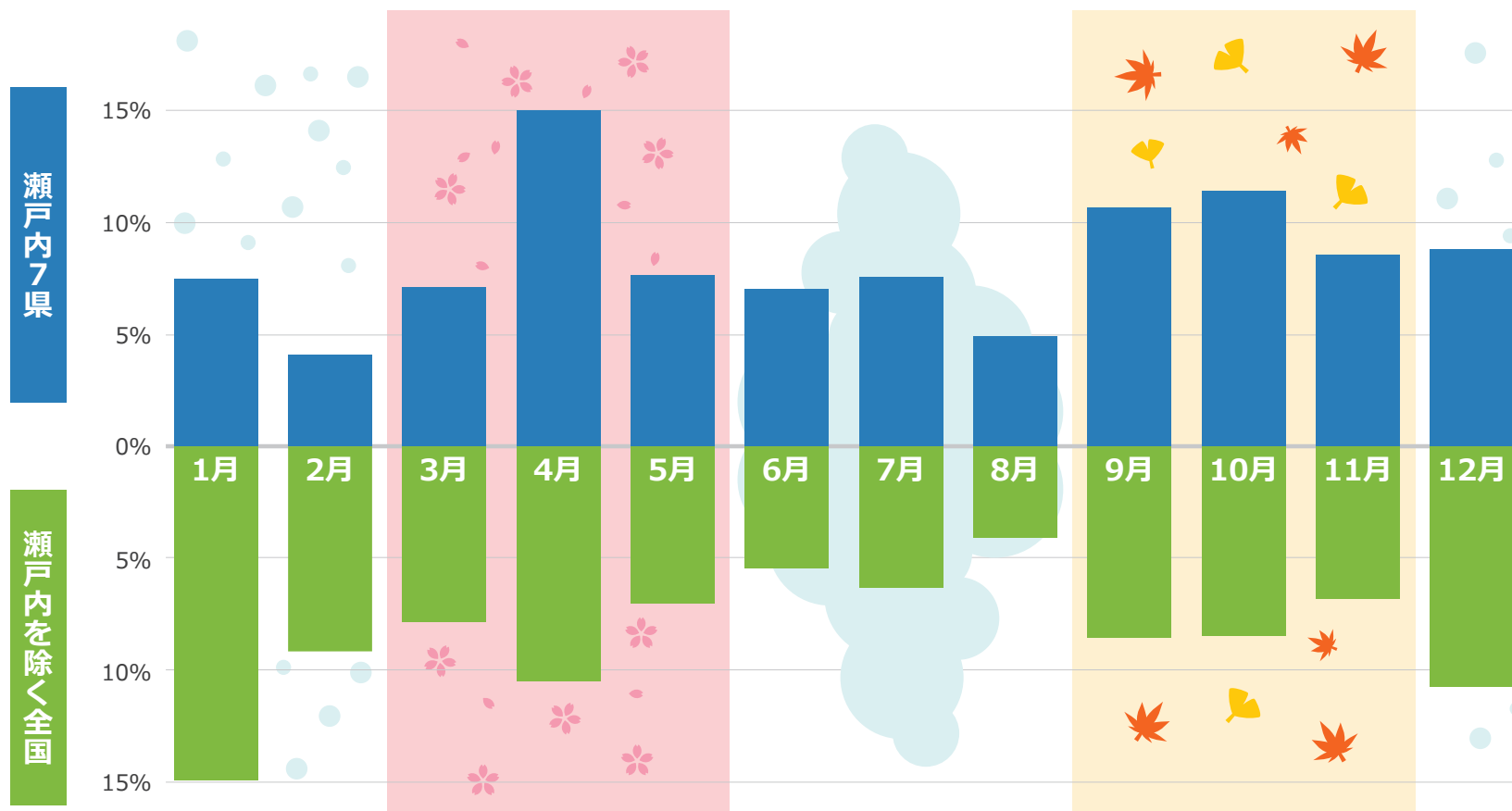
訪日旅行時期（オーストラリア）

全国的な傾向と比べ、4月と9～11月が増えています。

桜と紅葉が目的であることが想定されます。

DATA：観光庁「宿泊旅行統計調査」
2015年。外国人延べ宿泊数。従業員10名以上の施設（参考第1表）

延宿泊者数の月別構成比



STEP 03：周遊プランを作る

台湾 20代 女子旅



旅行スタイルと旅程パターン

ここでは一例として、「紅葉時期」の
「岡山×香川」の周遊パターンを作成します。

ターゲットの旅行スタイル



20代
女子旅

- ・桜（4月後半）
- ・紅葉（10月後半～11月）



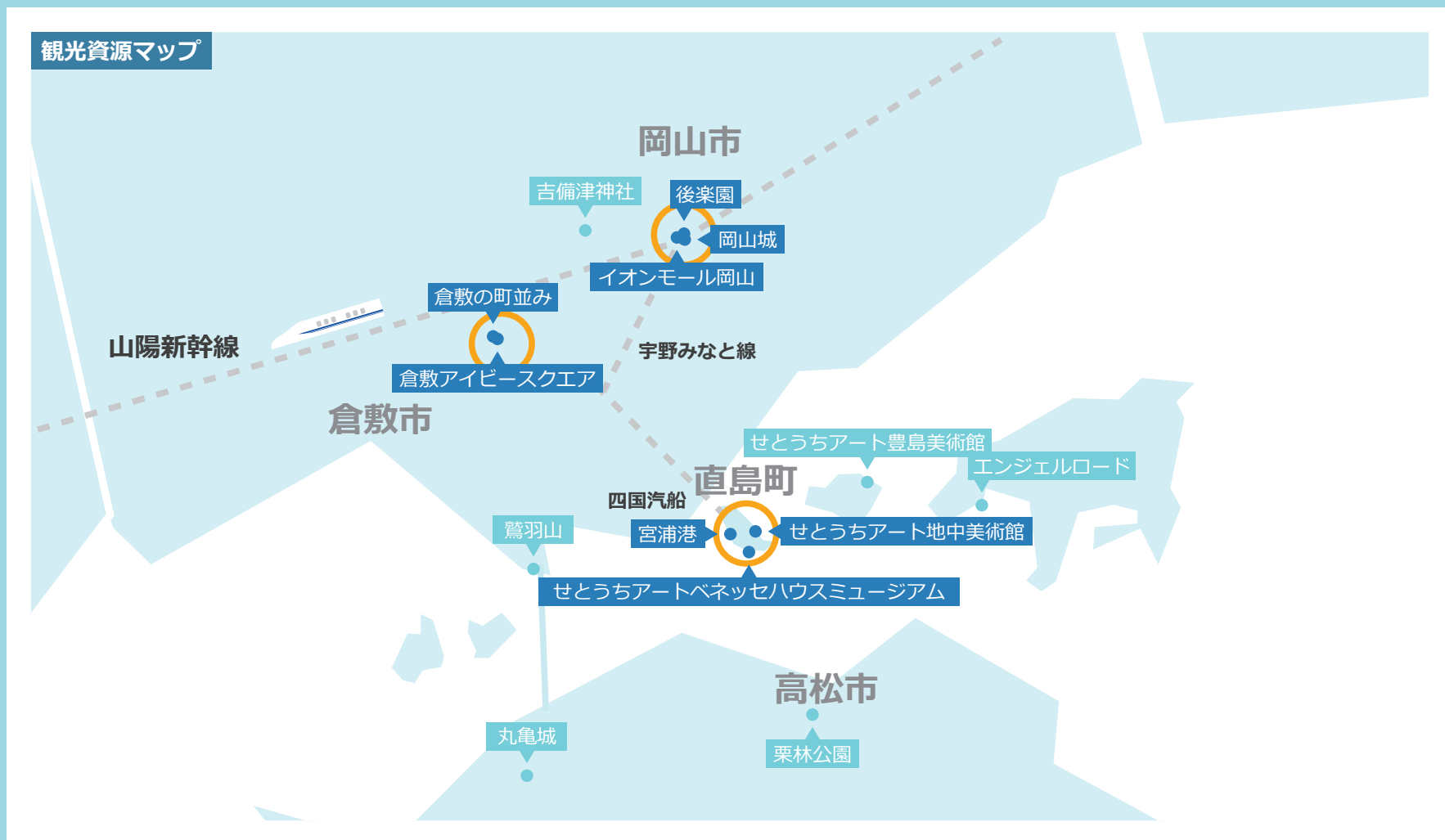
受容度の高い旅程パターン

日本6日滞在の場合（日本13日滞在の場合）

DAY 1 (DAY 8)	DAY 2 (DAY 9)	DAY 3 (DAY 10)	
兵庫	兵庫 or 広島	広島	別のエリア
広島	広島 or 岡山	岡山	別のエリア
岡山	岡山 or 香川	香川	別のエリア
香川	香川 or 愛媛	愛媛	別のエリア

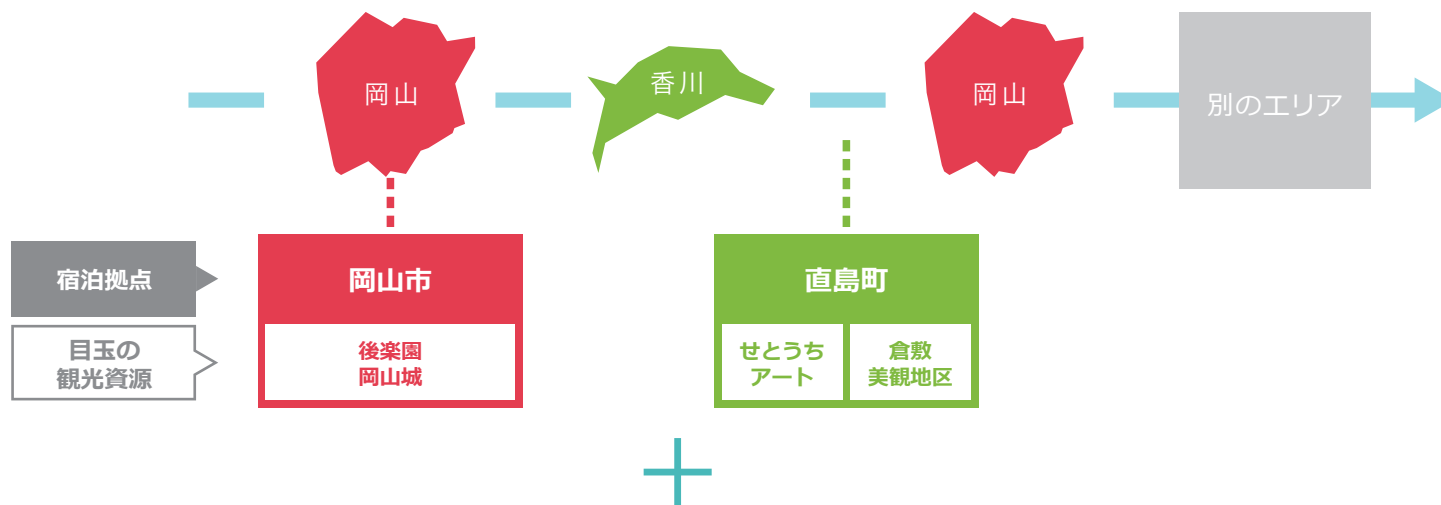
岡山県・香川県の観光資源

旅の目的となりそうな強い観光資源で、
かつ交通の便がよさそうなエリアを選出します。



岡山県・香川県の周遊プラン

旅程パターンに目玉となる観光資源を紐づけ、周遊プランの骨格を作ります。



魅力を高める
観光資源

体験型コンテンツ（着物体験・酒蔵体験・川舟流し他）

差別化の
ポイント

人でごった返している京都の秋と違い、ゆったりとした時間の流れの中で、アートや自然の美を堪能できるのが瀬戸内の秋。

岡山県・香川県の周遊プラン

ブリーフィングシートのかたちにとまとめます。

20代 女子旅



プラン名 / 時期

「ゆったりとした時間の中で楽しむ、瀬戸内アートの旅」プラン
/ 11月末想定

ターゲット

20代未婚女性の二人旅。台湾にはないものを見たい。東京/大阪/京都/北海道/沖縄は経験済で、そこでは楽しめないもののために地方部に行く。地方部は行き方が分からない。SNS投稿映えするコンテンツが好き。交通の便が悪いところでもOKだが、移動時間が長いのはもったいないと感じる。毎晩宿が変わることも許容できるが、できれば避けたい。仕事が一段落ついた時の土日や4月と10月の連休に、有給をくっつけて、4・5泊旅行にすることが多い。魅了を感じることは、桜や雪や紅葉など、季節を感じさせる美しい自然や、地域色豊かな祭り/風習/文化、体験コンテンツ（漁業体験/フルーツ狩り/酒蔵体験/工芸品製作）。但し暑い時期の屋外体験は好まれない。何回日本に来て、大都市での買い物は必須。

想定旅程

岡山空港入国→関空出国。
5泊6日想定。



プランの特徴・差別性

人でごった返している京都の秋と違い、ゆったりとした時間の流れの中で、アートや自然の美を堪能できるのが瀬戸内の秋。倉敷美観地区のレトロな町並みや、穏やかな瀬戸内の自然を活かしたアート作品を楽しむ。

岡山県・香川県の周遊プラン

ブリーフィングシートのかたちにとまとめます。

目玉となる観光資源



せとうちアート



紅葉

香川県直島町

- せとうちアート

岡山県岡山市・倉敷市

- 後楽園 ●吉備津神社
- 美観地区



魅力を高める観光資源

- 写真映えするコンテンツや体験 ●岡山城の着物体験
- 倉敷美観地区の川舟流し体験 ●酒蔵で飲み比べ体験
- 後楽園の岡山城が見える茶屋
- センスが良く、居心地の良いゲストハウスやバー



ターゲットにとっての価値

涼しくて紅葉がキレイだから日本の秋は好き。京都の紅葉は見たことがあるのと、ここのところ忙しかったので、静かなところでのんびりしたいと思ったから、別の場所に行くことにした。草間彌生は台湾でも大人気で、直島は行きたいと思っていたところ。直島へのアクセスを調べたら、岡山空港への直行便がとて安くて便利なことを知った。倉敷の街や岡山城など、岡山にも良さそうな場所があるので立ち寄ろうと思う。帰りは関空から出国することにして、大阪での買い物は組み込もうと思っている。

観光地にとっての価値

穏やかな瀬戸内の気候と、そこから創りだされるゆったりとした時間の流れや美の感性。倉敷の町並みやせとうちアートのような有名なものから、街で味わえる食（日本酒、コーヒー、海の幸、鶏）やアート（個店や音楽）まで。京都や大阪では味わえない、瀬戸内特有のマイルドな空気感と豊かな街文化をアピールしたい。

想定リスク

瀬戸内エリア内では毎晩宿が変わるため、若干旅程が忙しく感じる可能性がある。観光拠点間の移動は公共交通機関を想定しているため、本数やアクセスの面で、不便さを感じさせてしまう可能性が高い。言語対応（繁体字）。

STEP 03：周遊プランを作る

オーストラリア 20代 カップル旅



旅行スタイルと旅程パターン

「桜時期」の「広島×岡山」の
周遊パターンを作成します。

ターゲットの旅行スタイル

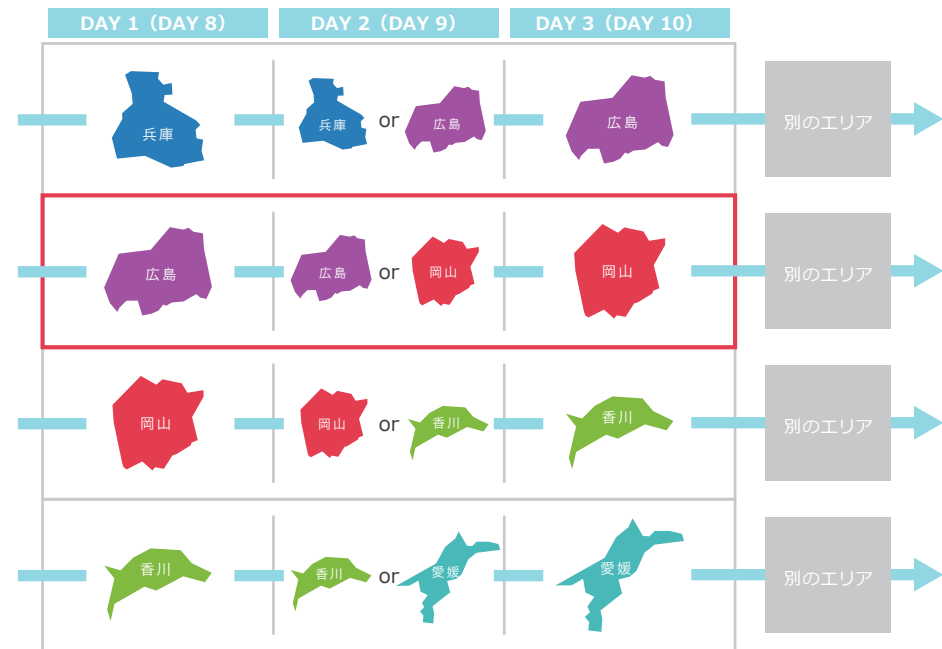


- ・桜（4月）
- ・紅葉（10月後半～11月）



受容度の高い旅程パターン

日本6日滞在の場合（日本13日滞在の場合）



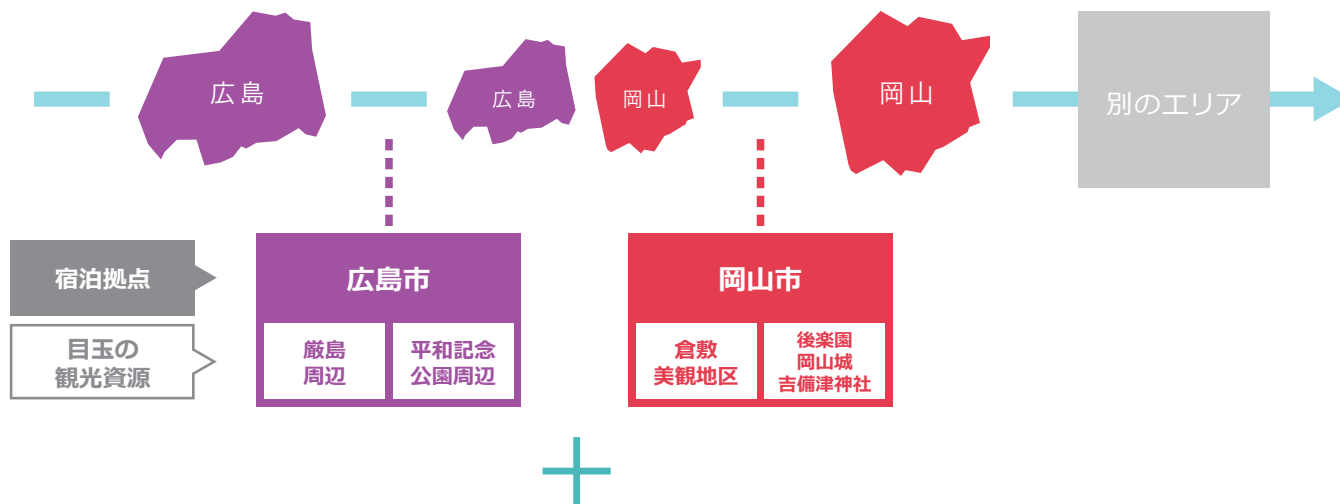
広島県・岡山県の観光資源

旅の目的となりそうな強い観光資源で、
かつ交通の便がよさそうなエリアを選出します。



広島県・岡山県の周遊プラン

旅程パターンに目玉となる観光資源を紐づけ、
周遊プランの骨格を作ります。



魅力を高める
観光資源

体験型コンテンツ（着物体験・酒蔵体験・川舟流し体験他）

差別化の
ポイント

京都や大阪の喧騒から一歩離れた、
瀬戸内の穏やかでゆったりとした空間や豊かな文化と、
世界的に有名な広島の名所の両方を体験することができる。

広島県・岡山県の周遊プラン

ブリーフィングシートのかたちにとまとめます。



プラン名 / 時期

「広島の名所と、瀬戸内スローライフを楽しむ旅」プラン
/ 4月を想定

ターゲット

20代のカップル旅。日本には1度来たことがあるかどうか。視野を広げるために、進んで異文化を体験したいと思っている。冒険色の強いアクティビティを好む。ゴールデンルート（東京、京都、大阪）は一通り行ってみたい。地方部は行き方が分からないが、都市部と違った文化や景色が広がっていきそうで興味がある。チェックインを繰り返すのは面倒だから、同じ宿に2連泊以上したい。魅力を感じるの、桜や雪や紅葉など、季節を感じさせる美しい自然。インスピレーションを得やすい、静かな環境。現代カルチャー（ハイテク、アニメ、ネオン街）。スキーはオーストラリアでは高価なレジャーなので、手軽な価格で良質な雪質は魅力的。歴史を感じさせる町並み、風習/文化。体験コンテンツ（漁業体験/酒蔵体験/工芸品製作）。日本酒も人気があるが、今は日本のウイスキーがオーストラリアでとても人気が高い。

想定旅程

東京(成田・羽田)入出国。
1 2泊 1 3日想定。



プランの特徴・差別性

京都や大阪の喧騒から一歩離れた、瀬戸内の穏やかでゆったりとした空間や豊かな文化と、世界的に有名な広島の名所の両方を体験することができる。

広島県・岡山県の周遊プラン

ブリーフィングシートのかたちにとまとめます。

目玉となる観光資源



宮島周辺



後楽園

広島県広島市・廿日市市

● 平和記念公園周辺 ● 宮島周辺

岡山県岡山市・倉敷市

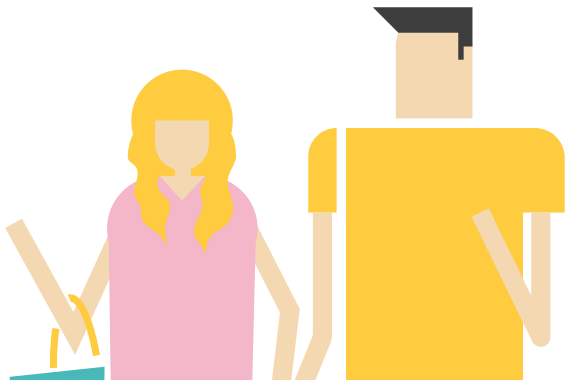
● 後楽園 ● 岡山城 ● 吉備津神社

● 美観地区



魅力を高める観光資源

- 非日常的な体験（倉敷美観地区川舟流し、日本酒酒蔵見学）
- 世界的な潮流の日本のアレンジ（ゲストハウス、ウイスキーバー、コーヒーショップ）



ターゲットにとっての価値

広島は原爆ドームや宮島は以前から知っていたので、ぜひ自分の目でみたいと思っていた。京都を起点に広島日帰りも考えたが、混雑した観光地ばかりだったので、カントリーサイドにも行ってみたいと思い、広島の近くを探した。広島から40分くらいにあって、自分たちが好きなテイストのゲストハウスやバーやコーヒースタンドがあったので、いい雰囲気の中で落ち着けそうだと思って、岡山にも興味をもった。

観光地にとっての価値

穏やかな瀬戸内の気候と、そこから創りだされるゆったりとした時間の流れや美の感性。宮島や倉敷の町並みといった有名なものから、街で味わえる食（日本酒、コーヒー、海の幸、鶏）やアート（個店や音楽）まで。京都や大阪では味わえない、瀬戸内特有のマイルドな空気感と豊かな街文化をアピールしたい。

想定リスク

広島と岡山が各々1泊ずつとなり、ターゲットが好む2連泊以上同じ宿に泊まりたい、というニーズに沿っていない（2連泊を優先する場合は岡山市での宿泊を想定）。
言語対応（英語）。



STEP 03：周遊プランを作る

オーストラリア 30~40代 ファミリー旅

旅行スタイルと旅程パターン

「桜時期」の「兵庫×広島」の周遊パターンを作成します。

ターゲットの旅行スタイル

30~40代
ファミリー旅

- ・桜 (4月)
- ・紅葉 (10月後半~11月)

受容度の高い旅程パターン

日本6日滞在の場合 (日本13日滞在の場合)

DAY 1 (DAY 8)	DAY 2 (DAY 9)	DAY 3 (DAY 10)	
兵庫	兵庫 or 広島	広島	別のエリア →
広島	広島 or 岡山	岡山	別のエリア →
岡山	岡山 or 香川	香川	別のエリア →
香川	香川 or 愛媛	愛媛	別のエリア →

兵庫県・広島県の観光資源

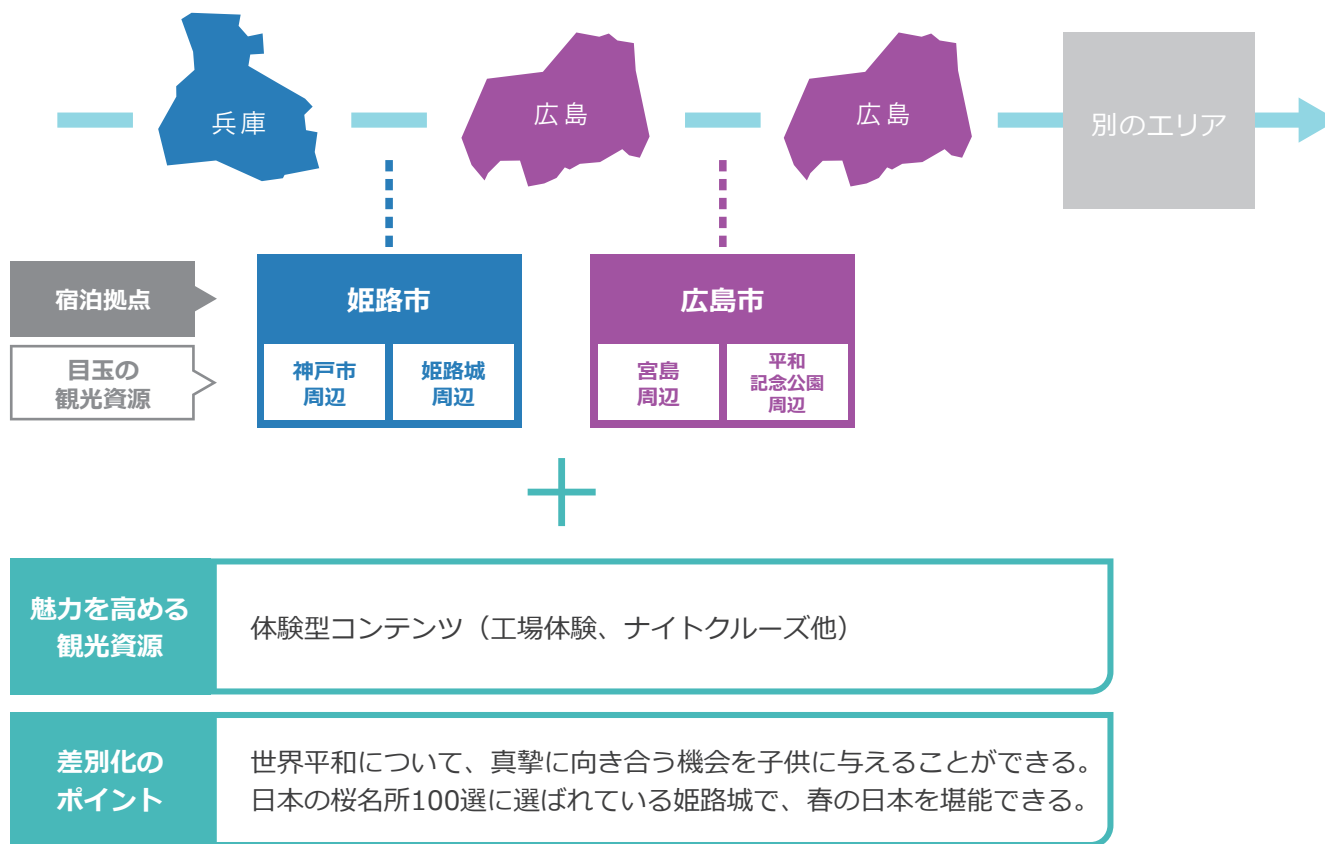
旅の目的となりそうな強い観光資源で、
かつ交通の便がよさそうなエリアを選出します。

観光資源マップ



兵庫県・広島県の周遊プラン

旅程パターンに目玉となる観光資源を紐づけ、
周遊プランの骨格を作ります。



兵庫県・広島県の周遊プラン

ブリーフィングシートのかたちにとまとめます。



プラン名 / 時期

「子供と共に、平和と日本の歴史について学ぶ旅」プラン
/ 4月を想定

ターゲット

30~40代の小学生以上の子供がいるファミリー旅。日本には1度来たことがあるかどうか。視野を広げるために、進んで異文化を体験したいと思っている。冒険色の強いアクティビティを好む。ゴールデンルート（東京、京都、大阪）は一通り行ってみたい。チェックインを繰り返すのは面倒だから、同じ宿に2連泊以上したい。魅力を感じるのは、外国語として日本語を習っている子供に、日本語や日本の礼儀作法に触れさせる機会を作れること。日本の伝統文化への理解を深めさせられること。子供にとって良い経験になり、子供が喜びそうな体験（漁業体験/工芸品製作/フルーツ狩り/キッズパーク）。スキー。

想定旅程

東京(成田・羽田)入出国。
1泊2泊1泊3日想定。



プランの特徴・差別性

世界平和について、真摯に向き合う機会を子供に与えることができる。
日本の桜名所100選に選ばれている姫路城で、春の日本を堪能できる。

兵庫県・広島県の周遊プラン

ブリーフィングシートのかたちにとまとめます。

目玉となる観光資源



姫路城



宮島周辺

兵庫県神戸市・姫路市

- グリコピア神戸等
- 姫路城 ●圓教寺

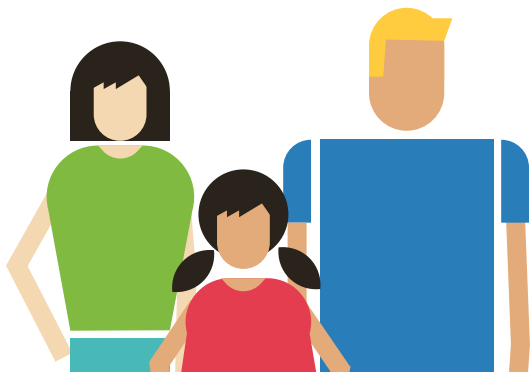
広島県広島市・廿日市市

- 平和記念公園周辺 ●宮島周辺



魅力を高める観光資源

- 工場見学（グリコピア神戸など）
- 宮島ナイトクルーズ



ターゲットにとっての価値

平和について考える良い機会になるので、子供に広島を見せたいと思っていた。加えて、子供が外国語教育として日本語を学んでいるので、城や武家文化に触れる機会は子供のためになると思った。ナイトクルーズや工場見学などは、見てまわるだけの観光とは一風変わって、子供も喜ぶと思う。日本の桜は有名なので、ぜひ見たいと思っていたが、姫路城でゴージャスな桜を楽しめそうなので、とても楽しみ。

観光地にとっての価値

広島の平和記念施設を通した平和教育や、宮島や姫路城などの歴史遺物を通した日本文化教育の受け皿として瀬戸内エリアの教育旅行的価値をアピールできる。

想定リスク

兵庫と広島が各々1泊ずつとなり、ターゲットが好む2連泊以上同じ宿に泊まりたい、というニーズに沿っていない（2連泊を優先する場合は神戸市での宿泊を想定）。グリコピアは人気のため、余裕をもった事前予約が必要。

STEP 03：周遊プランを作る

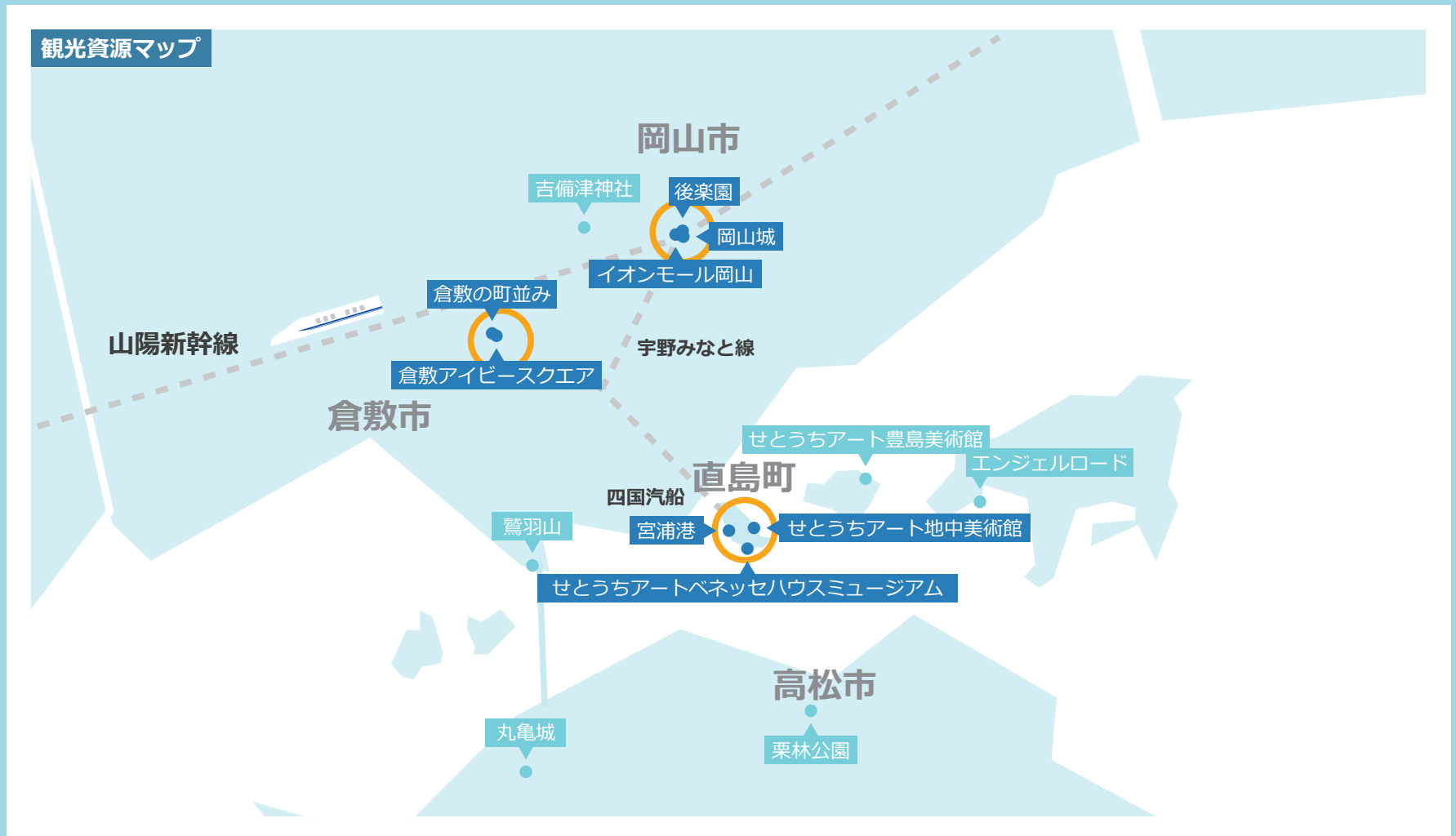
詳細プランの例

台湾20代 女子旅11月



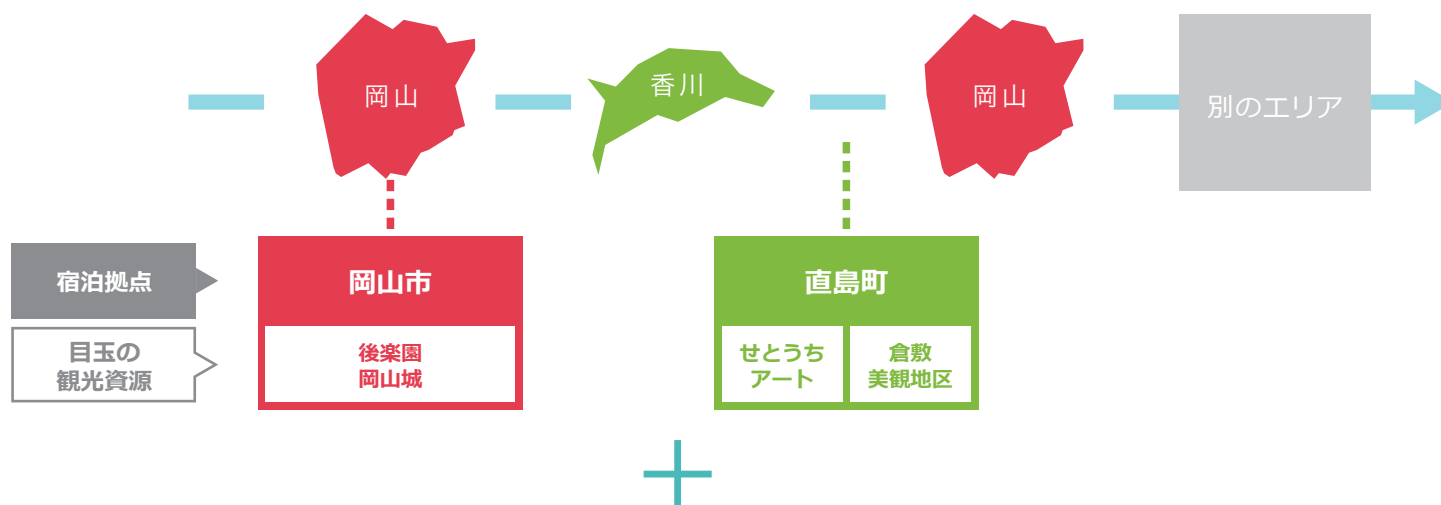
岡山県・香川県の観光資源（再掲）

旅の目的となりそうな強い観光資源で、
かつ交通の便がよさそうなエリアを選出します。



■ 岡山県・香川県の周遊プラン（再掲）

旅程パターンに目玉となる観光資源を紐づけ、
周遊プランの骨格を作ります。



魅力を高める
観光資源

体験型コンテンツ（着物体験・酒蔵体験・川舟流し他）

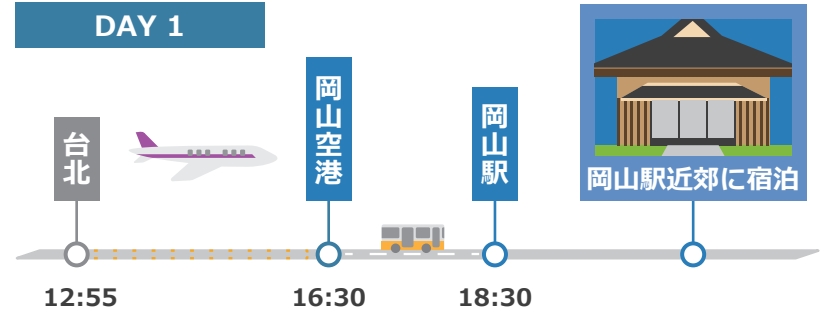
差別化の
ポイント

人でごった返している京都の秋と違い、ゆったりとした時間の流れの中で、アートや自然の美を堪能できるのが瀬戸内の秋。

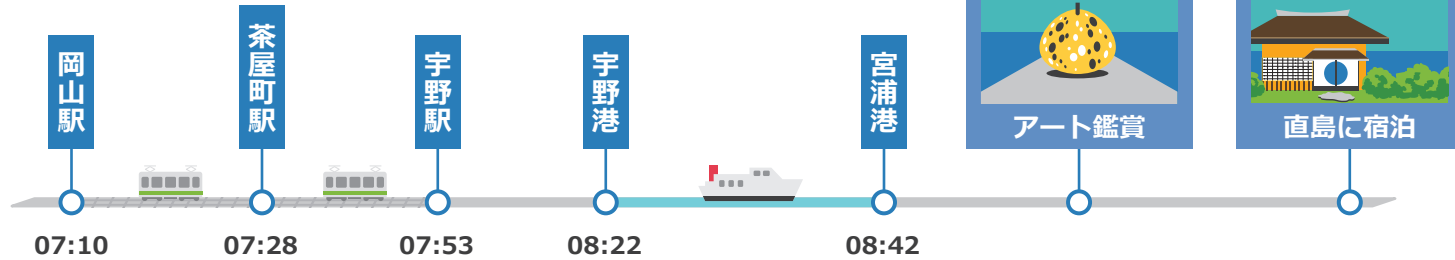
岡山県・香川県の周遊プラン（詳細）

- 個人旅行のため、移動は公共交通機関を前提にプランニング
- 「地方部は移動が不便そう」との声があり、具体的な情報を確認の上で明示
- 1回あたりの移動を2時間以内におさえるように工夫

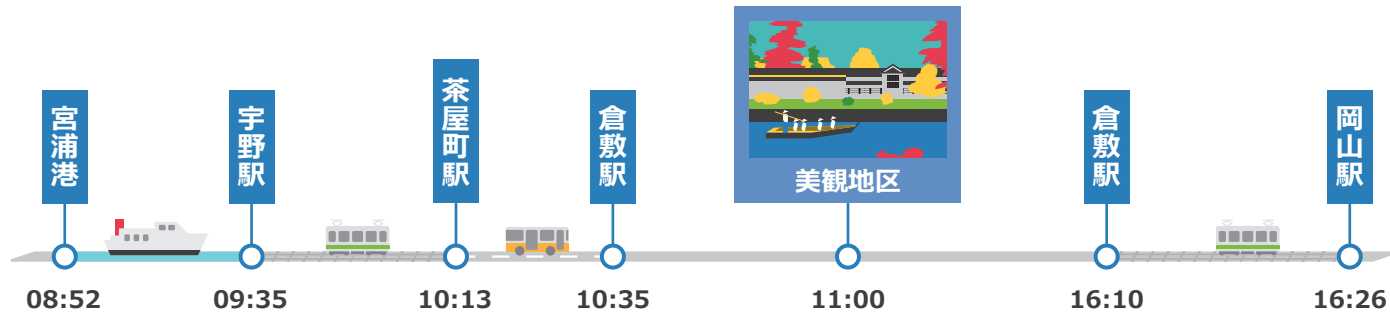
DAY 1



DAY 2



DAY 3



別のエリアへ